

V 精神障害者調査

1 精神障害者調査の結果のまとめ

(1) 回答者の属性

年齢は、「50～59 歳」「30～39 歳」と「40～49 歳」の順に多くなっています。同居家族は、「ひとり暮らし」が最も多くなっています。

主な収入は、「年金」「生活保護」の順に多くなっています。

精神障害者保健福祉手帳を取得した時の年齢は、「18～39 歳までの間」が最も多くなっています。等級は「2 級」が最も多くなっています。

手帳を持っていない理由は、「障害者として知られたくないため」「メリットを感じないため」「申請に手間がかかるため」の順に多くなっています。

他にある障害等は、「特にない」を除くと、「発達障害」が最も多くなっています。発達障害のあるかたにとって、日常生活や社会生活の中で困難を感じることは、「仕事・就労」が最も多くなっています。

医療機関の受診状況は、「通院している」、受けている医療処置は、「特にない」が最も多くなっています。医療保険サービスの利用状況は、「特にない」を除くと、「訪問看護」が最も多くなっています。

かかりつけ医の有無は、「持っている」が 75.4%、「持っていない」が 21.9%となっています。持っていない理由は、「今後必要と思うが今は必要でない」「必要と思うが見つけれない」の順に多くなっています。

(2) 福祉に関する情報や相談

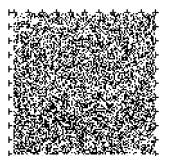
福祉に関する情報の入手手段は、「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」、よく利用する相談窓口は、「事業所・施設」が最も多くなっています。

相談対応の満足度は、「おおむね満足している」が半数を超えています。相談対応に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が最も多くなっています。

(3) 就労の状況

現在の就労状況と今後の就労意向は、「今、仕事・作業をしており、今後も続けたい」が最も多くなっています。就労の形態は、「福祉作業所・就労継続支援 B 型（雇用契約を結んでいない）・地域活動支援センター」が最も多くなっています。月収は、「1 万円未満」が最も多くなっています。

今、仕事・作業をしているかたの現在の仕事・作業を見つけた方法は、「区の機関（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、施設・就労支援グループ等）」が最も多くなっています。仕事・作業に対する悩みや不安は、「特に悩みや不満はない」「何となく行きたくない時がある」の順に多くなっています。



V 精神障害者調査

1 精神障害者調査の結果のまとめ

ます。今後希望する就労の形態は、「パート・アルバイト等の短時間就労」が最も多くなっています。
仕事・作業をしていないかたのその主な理由は、「病気のため」が最も多くなっています。

(4) サービスの利用や今後の利用

「現在利用しているサービス」は、「自立支援医療（医療費の公費負担）」、「今後利用したいサービス」は、「通所サービス（就労移行支援、就労継続支援、生活訓練、宿泊型自立訓練、機能訓練、生活介護など）」が最も多くなっています。

障害者のための就労施設を利用して良かったことは、「生活にリズムができた」が最も多くなっています。障害者のための就労施設への要望は、「工賃をもう少しあげてほしい」が最も多くなっています。

(5) 社会参加等

最近1年間に行った活動は、「買い物」「散歩」の順に多くなっています。活動しにくい理由は、「健康状態が良くない」が最も多くなっています。

近所つき合いは、「あいさつ程度はしている」が最も多くなっています。現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビを見る、音楽を聴く」「インターネット」の順に多くなっています。

障害のない人との交流は、「ほとんどない」が最も多くなっています。

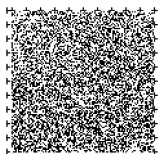
地域のかたがたの障害・疾病に対する理解は、「理解を得られている」(「よく理解を得られている」と「おおむね理解を得られている」の合計)が30.7%、「理解を得られていない」(「あまり理解を得られていない」と「理解を得られていない」の合計)が60.7%となっています。また、家族の疾病に対する理解は、「理解をしている」(「よく理解している」と「おおむね理解している」の合計)が54.6%、「理解をしていない」(「あまり理解していない」と「まったく理解していない」の合計)が26.8%となっています。

障害者団体の活動に参加していない理由は、「障害者団体の存在を知らない」が最も多くなっています。

運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が最も多く、運動やスポーツを行っているかたの実施頻度は、「週に3日以上」が最も多くなっています。また、運動やスポーツを行いにいと感ずることは、「体調や体力に不安がある」「一緒に運動やスポーツができる友人がいない」「費用が高い」の順に多くなっています。

(6) 意思疎通の状況

コミュニケーションに困った場所・場面は、「特に困ったことはない」を除くと、「電話」が最も多くなっています。



(7) 障害者の権利

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が最も多くなっています。成年後見制度の利用意向は、「わからない」が最も多くなっています。

虐待を受けた経験は、「ない」が51.4%、「ある」が37.7%となっています。虐待を受けたことがあるかたの虐待の内容は、「怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視をするなど（心理的虐待）」が最も多く、受けたことがある虐待の相手は、「養護者（家族、親族、同居人など）」「使用者（働いている場所の事業主など）」の順に多くなっています。相談をした相手は、「病院・診療所」が最も多くなっています。

障害者への差別を「感じる」（「よく感じる」と「時々感じる」の合計）が42.6%、「感じない」（「あまり感じない」と「全く感じない」の合計）が50.3%となっています。どのようなときに差別を感じるかでは、「働きたいとき、働いているとき」「公共施設や交通機関を利用するとき」の順に多くなっています。また、差別の相談経験は、「ない」が68.9%、「ある」が15.3%となっています。相談先は、「区の障害福祉課」が最も多くなっています。

選挙への参加状況は、「毎回行く」が最も多くなっています。行かないかたの理由は、「選挙に関心がない」が最も多くなっています。

(8) 外出の状況

外出の頻度は、「ほぼ毎日」が最も多くなっています。よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が最も多くなっています。

外出時にけがをした経験は、「ない」が77.0%、「ある」が14.8%となっています。けがをしたことがあるかたの理由は、「歩道などの段差」が最も多くなっています。外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が最も多くなっています。

自宅内でけがをした経験は、「ない」が76.5%、「ある」が12.6%となっています。場所は、「台所」「居間」の順に多くなっています。

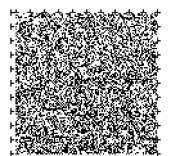
まちのバリアフリーについての満足度は、「満足」（「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計）が59.0%、「不満」（「やや不満である」と「とても不満である」の合計）が30.1%となっています。

(9) 防災の意識・対策

豊島区障害者防災の手引きの認知度は、「知らない」が79.2%、「知っている」が13.7%となっています。

区の防災対策の認知度は、「ヘルプカード」が最も多くなっています。日常的な防災意識と防災対策の実施状況は、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策行っていない」が最も多くなっています。また、具体的に行っている準備は、「持出し物品などの準備をしている」が最も多くなっています。

災害時を想定した対応方法に対する安心感は、「やや不安である」が最も多くなっています。

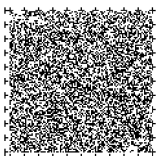


V 精神障害者調査

1 精神障害者調査の結果のまとめ

(10) 豊島区の今後のありかたについて

取り組みで重要だと思うことは、「就労の支援や職業訓練」「障害者や難病患者への理解を深めるための啓発・広報活動」の順に多くなっています。

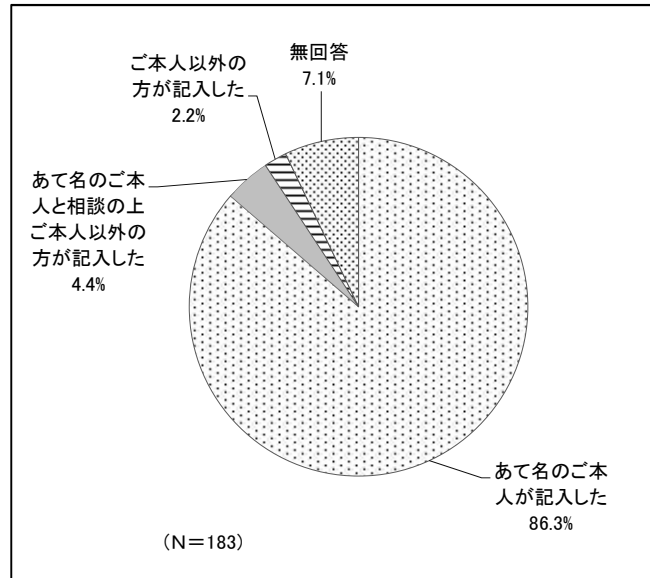


2 回答者の属性

(1) 調査票記入者

問 52 ご記入者は、調査票のあて名になっていたかたからみて、どなたにあたりますか。(○は1つ)

調査票記入者は、「あて名のご本人が記入した」が86.3%となっています。



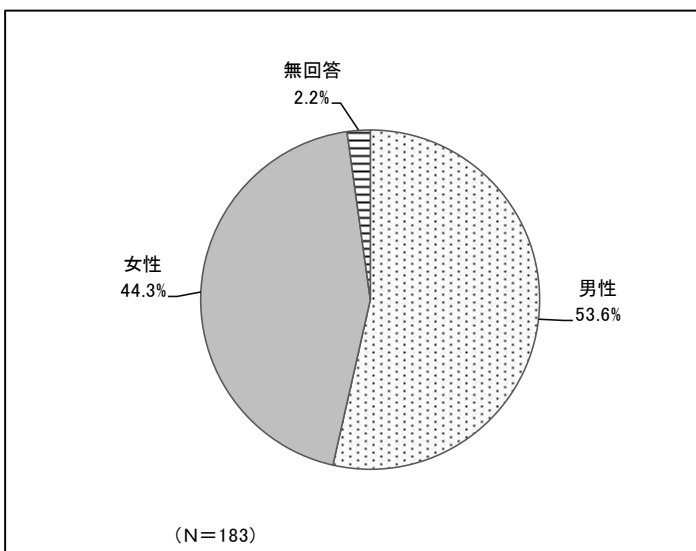
(2) 性別・年齢

問1 あなたの性別と年齢(本日の満年齢)を教えてください。

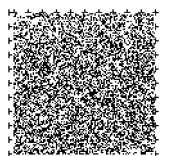
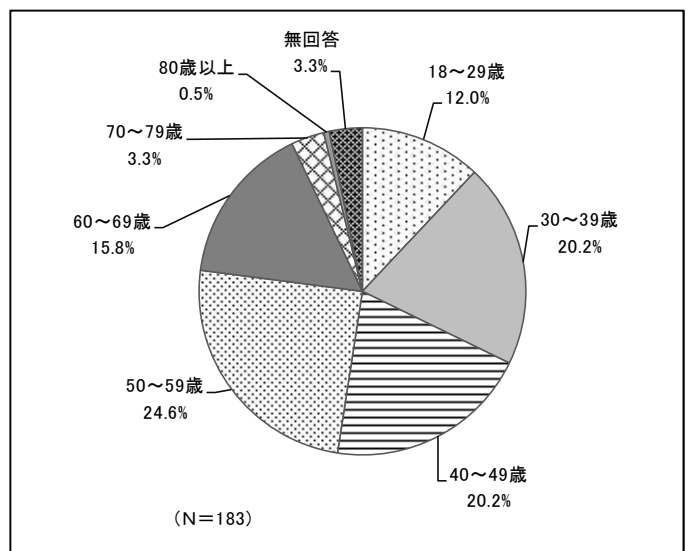
性別は、「男性」が53.6%、「女性」が44.3%となっています。

年齢は、「50～59歳」が24.6%と最も多く、次いで「30～39歳」と「40～49歳」が20.2%となっています。

<性別>



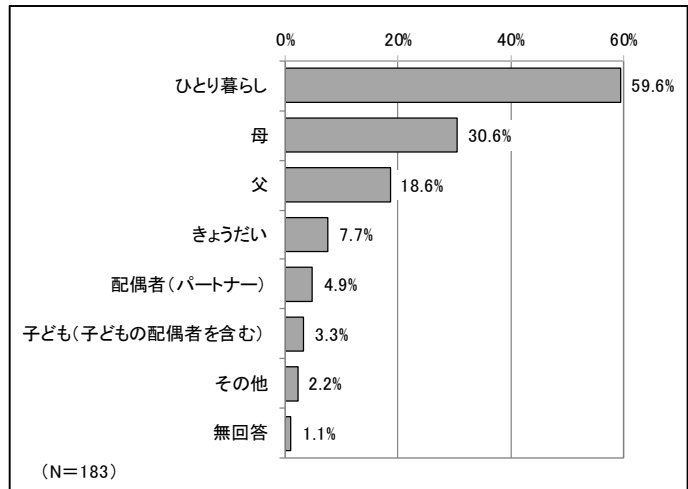
<年齢>



(3) 同居家族

問2 あなたと一緒に住んでいるご家族に○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

同居家族は、「ひとり暮らし」が59.6%と最も多く、次いで「母」が30.6%となっています。

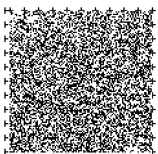
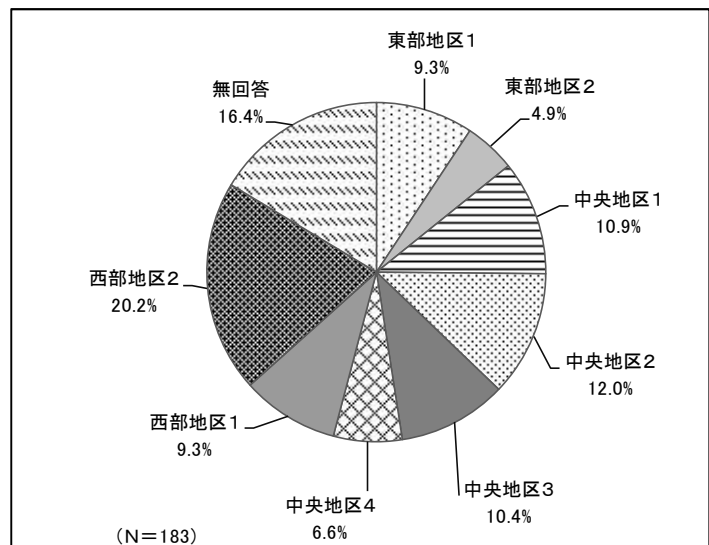


(4) 居住地区

問3 あなたのお住まいの地区はどこですか。

居住地区は、「西部地区2」が20.2%と最も多く、次いで「中央地区2」が12.0%となっています。

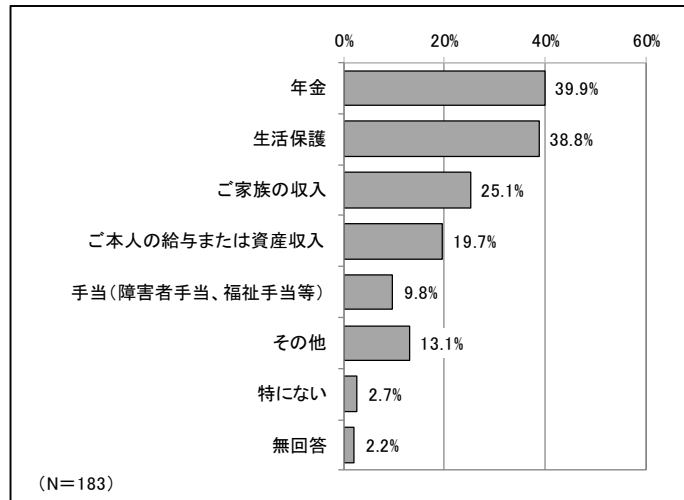
(居住地区の内訳は p. 4 を参照)



(5) 収入

問4 あなたの主な収入は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

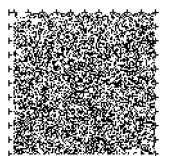
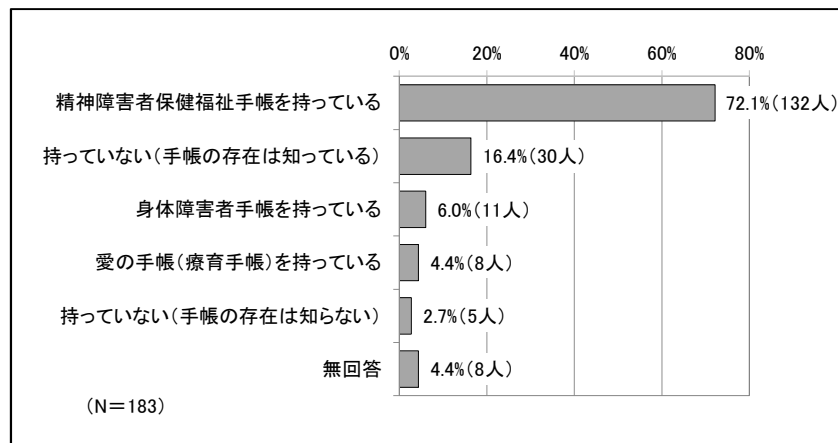
主な収入は、「年金」が39.9%と最も多く、次いで「生活保護」が38.8%となっています。



(6) 所有している障害者手帳

問5 あなたは、障害者手帳を持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

所有している障害者手帳は、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が72.1%と最も多く、次いで「持っていない(手帳の存在は知っている)」が16.4%となっています。



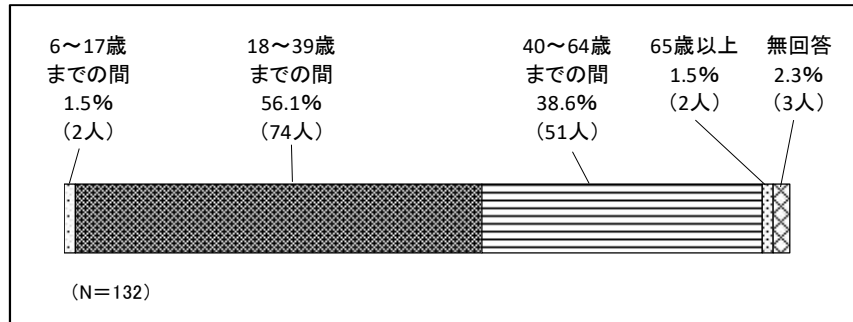
(7) 障害者手帳を取得した時の年齢

【問5で、精神障害者保健福祉手帳、身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)を持っているかたのみ】

問5-1 初めて手帳をとったのは何歳の時ですか。(手帳ごとに○は1つ)

①精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳を取得した時の年齢は、「18～39歳までの間」が56.1%と最も多くなっています。



※以下は回答者0人のため未掲載:

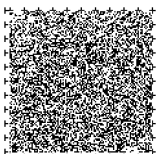
「0～5歳までの間」

②身体障害者手帳

身体障害者手帳を取得した時の年齢は、11人中、「18～39歳までの間」が4人、「40～64歳までの間」が3人、「無回答」が4人となっています。

③愛の手帳(療育手帳)

愛の手帳(療育手帳)を取得した時の年齢は、8人中、「6～17歳までの間」が1人、「18～39歳までの間」が6人、「40～64歳までの間」が1人となっています。



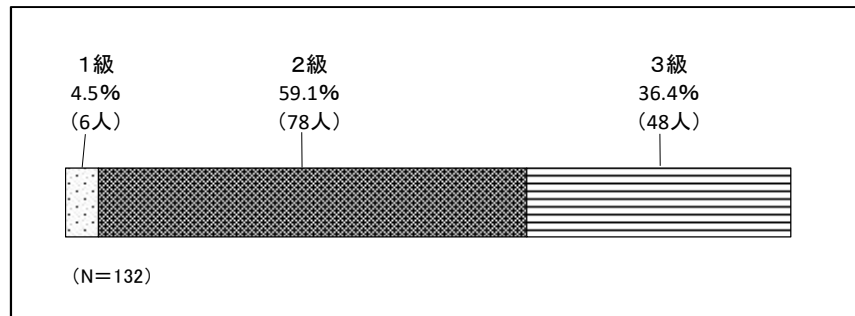
(8) 手帳の等級、程度

【問5で、身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)、精神障害者保健福祉手帳を持っているかたのみ】

問5-2 手帳の等級、程度を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

①精神障害者保険福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳の等級は「2級」が59.1%となっています。



※以下は回答者0人のため未掲載:

「無回答」

②-1 身体障害者手帳(種別)

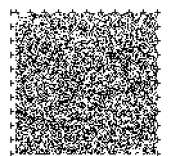
身体障害者手帳の種別は、11人中、「内部障害」が3人、「視覚障害」が1人、「平衡機能障害」が1人、「無回答」が6人となっています。

②-2 身体障害者手帳(等級)

身体障害者手帳の等級は、11人中、「3級」が4人、「4級」が3人、「無回答」が4人となっています。

③愛の手帳(療育手帳)

愛の手帳(療育手帳)の度数は、8人中、「4度」が8人となっています。



(9) 手帳を持っていない理由

【問5で、いずれの手帳も持っていないかたのみ】

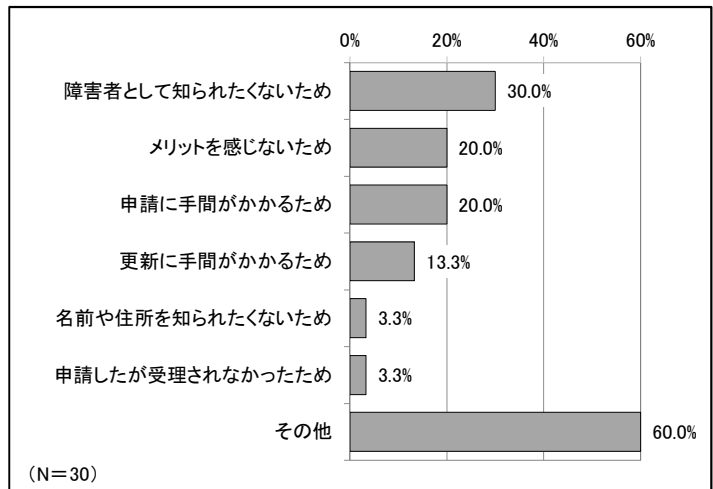
問5-3 手帳を持っていない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

手帳を持っていない理由は、「障害者として知られたくないため」が30.0%と最も多く、次いで「メリットを感じないため」「申請に手間がかかるため」が20.0%となっています。

「その他」としては、申請中、手続きの仕方がわからないという回答がありました。

※以下は回答者0人のため未掲載:

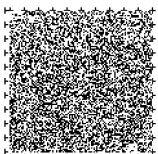
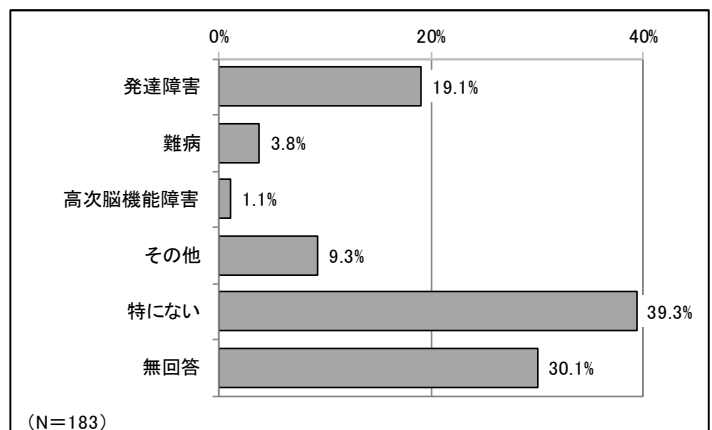
「無回答」



(10) 他にある障害等

問6 他に障害や病気があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

他にある障害等は、「特にない」を除くと、「発達障害」が19.1%となっています。



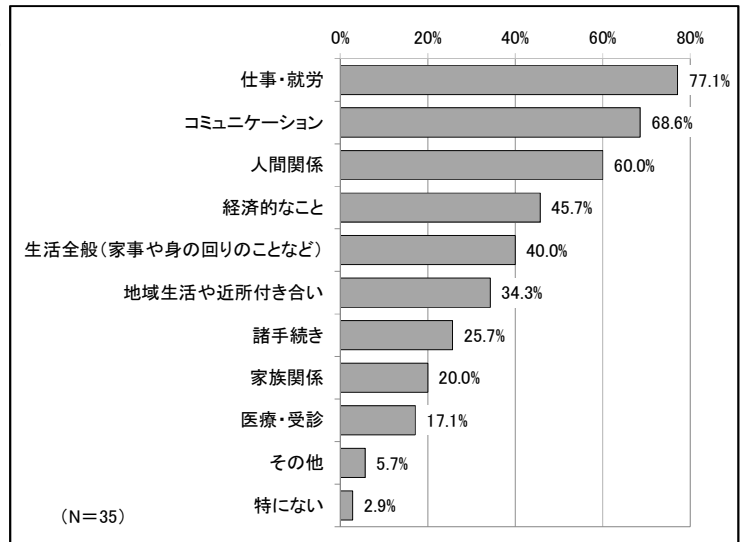
(11) 発達障害のあるかたで困難に感じること

【問6で、「発達障害」と回答したかたのみ】

問7 あなたは日常生活や社会生活の中で困難を感じることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

発達障害のあるかたにとって、日常生活や社会生活の中で困難を感じることは、「仕事・就労」が77.1%と最も多く、次いで「コミュニケーション」が68.6%となっています。

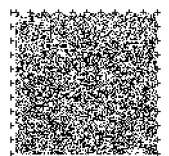
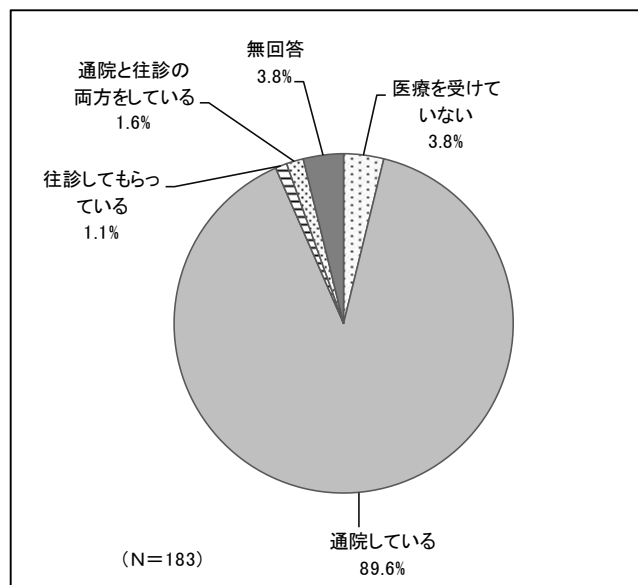
※以下は回答者0人のため未掲載：
「無回答」



(12) 医療機関の受診状況

問8 障害や病気のために、現在、医療を受けていますか。(○は1つ)

医療機関の受診状況は、「通院している」が89.6%と最も多く、次いで「医療を受けていない」が3.8%となっています。

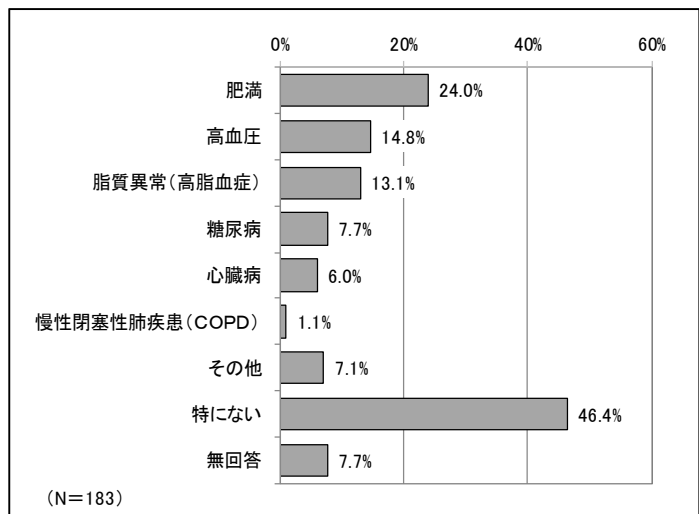


(13) 生活習慣病について

問9 生活習慣病がありますか。(あてはまるものすべてに○)

生活習慣病は、「特にない」を除くと、「肥満」、「高血圧」の順に多くなっています。

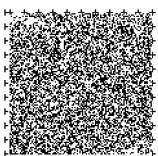
年齢別でみると、50歳代までは「肥満」、60歳代以降は「高血圧」が多くなっています。



【年齢別】

生活習慣病		回答者数	高血圧	脂質異常 (高脂血症)	糖尿病	心臓病	慢性閉塞性 肺疾患(CO PD)	肥満	その他	特にない	無回答
全体	人数	183	27	24	14	11	2	44	13	85	14
	構成比		14.8%	13.1%	7.7%	6.0%	1.1%	24.0%	7.1%	46.4%	7.7%
18~29歳	人数	22	0	1	0	0	0	5	0	14	2
	構成比		0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	22.7%	0.0%	63.6%	9.1%
30~39歳	人数	37	0	3	1	1	1	12	2	21	1
	構成比		0.0%	8.1%	2.7%	2.7%	2.7%	32.4%	5.4%	56.8%	2.7%
40~49歳	人数	37	8	4	3	2	1	10	3	17	2
	構成比		21.6%	10.8%	8.1%	5.4%	2.7%	27.0%	8.1%	45.9%	5.4%
50~59歳	人数	45	7	9	2	3	0	12	4	20	2
	構成比		15.6%	20.0%	4.4%	6.7%	0.0%	26.7%	8.9%	44.4%	4.4%
60~69歳	人数	29	10	4	5	5	0	4	3	9	3
	構成比		34.5%	13.8%	17.2%	17.2%	0.0%	13.8%	10.3%	31.0%	10.3%
70~79歳	人数	6	2	2	1	0	0	1	1	1	2
	構成比		33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%
80歳以上	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
無回答	人数	6	0	1	2	0	0	0	0	3	1
	構成比		0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字



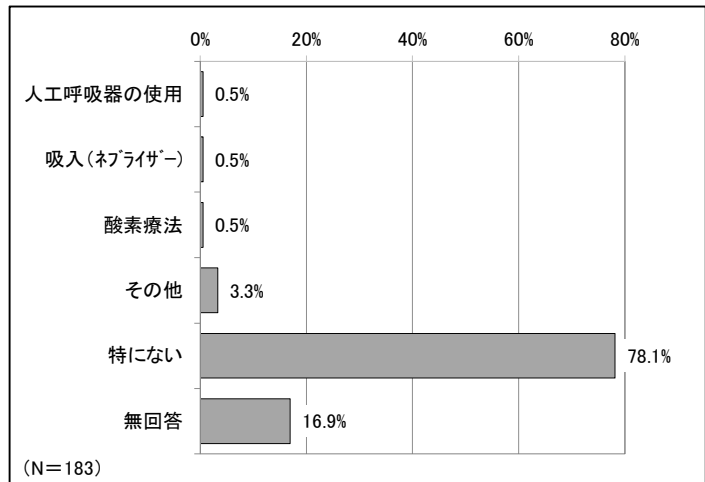
(14) 医療処置の有無

問 10 あなたは、医療処置を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

受けている医療処置は、「特にない」が78.1%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

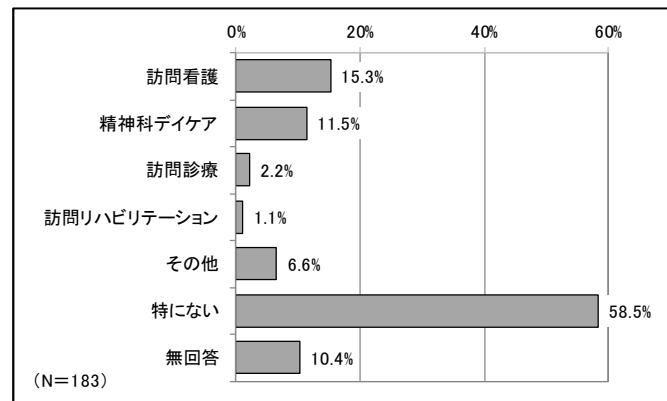
「痰(たん)の吸引」、「経管栄養・胃ろう」



(15) 医療保険サービスの利用状況

問 11 あなたは、医療保険サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

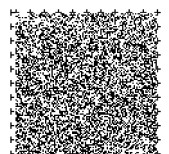
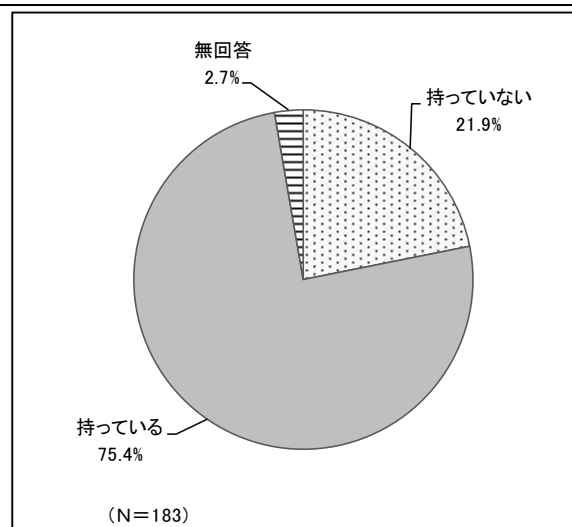
医療保険サービスの利用状況は、「特にない」を除くと、「訪問看護」が15.3%と最も多く、次いで「精神科デイケア」が11.5%となっています。



(16) かかりつけ医の有無

問 12 あなたは地域でかかりつけ医をお持ちですか。(○は1つ)

かかりつけ医の有無は、「持っている」が75.4%、「持っていない」が21.9%となっています。

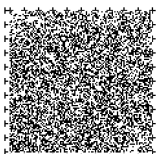
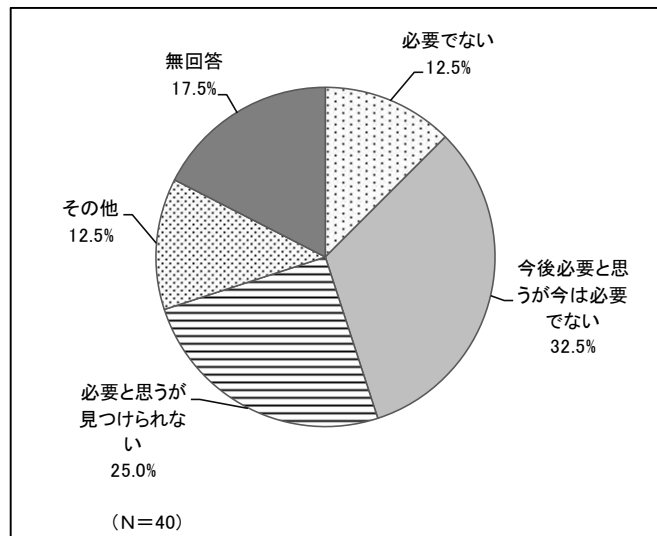


(17) かかりつけ医を持っていない理由

【問 12 で、「持っていない」と回答したかたのみ】

問 12-1 持っていない理由はなんですか。(○は1つ)

かかりつけ医を持っていない理由は、「今後必要と思うが今は必要でない」が 32.5%と最も多く、次いで「必要と思うが見つけれない」が 25.0%となっています。



3 福祉に関する情報や相談

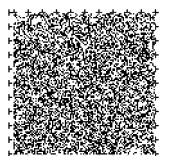
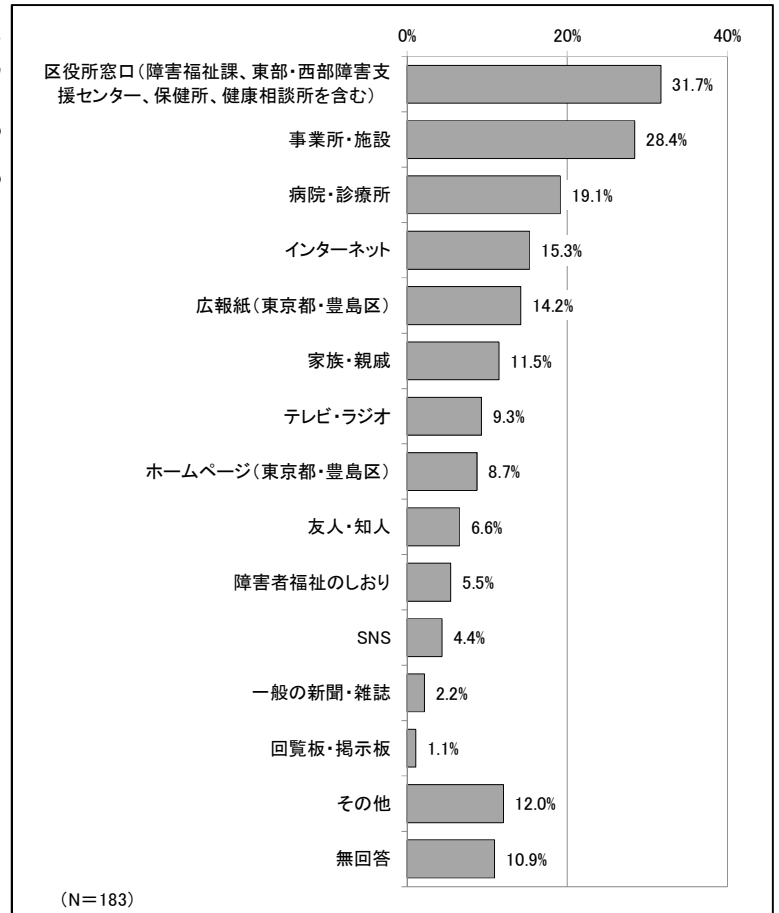
(1) 福祉に関する情報の入手手段

問 13 福祉に関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるもの3つまで○)

「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」が 31.7%

福祉に関する情報の入手手段は、「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」が 31.7% と最も多く、次いで「事業所・施設」が 28.4% となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載：
「民生委員・児童委員」、「学校」



(2) よく利用する相談窓口

問 14 よく利用する相談窓口はどこですか。(○は1つ)

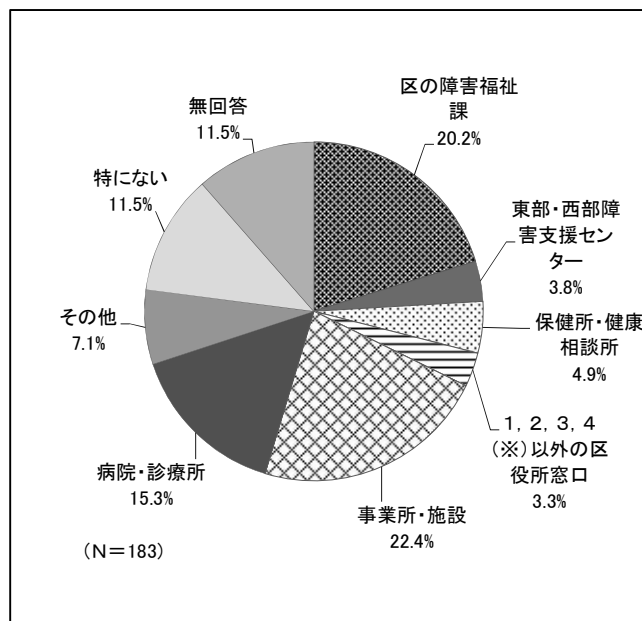
「事業所・施設」が 22.4%

よく利用する相談窓口は、「事業所・施設」が 22.4%と最も多く、次いで「区の障害福祉課」が 20.2%、「病院・診療所」15.3%となっています。

(※) 選択肢1は「区の障害福祉課」、選択肢2は「豊島区立心身障害者福祉センター」、選択肢3は「東部・西部障害支援センター」、選択肢4は「保健所・健康相談所」

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「豊島区立心身障害者福祉センター」、「社会福祉協議会」、「学校」、「民生委員・児童委員」



(3) 相談対応の満足度

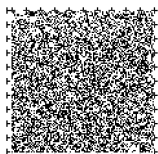
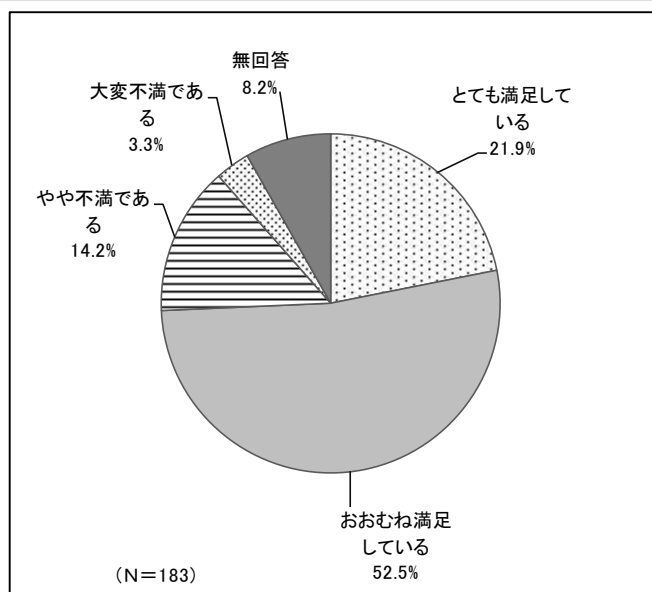
問 15 相談窓口について満足していますか。(○は1つ)

《満足》が 74.4%、《不満》が 17.5%

相談対応の満足度は、「おおむね満足している」が 52.5%と最も多く、次いで「とても満足している」が 21.9%となっています。

「とても満足している」と「おおむね満足している」を合わせた《満足》は 74.4%となっています。一方、「やや不満である」が 14.2%、「大変不満である」が 3.3%であり、両者を合わせた《不満》は 17.5%となっています。

相談窓口別でみると、いずれも「おおむね満足している」が最も多くなっています。



【よく利用する相談窓口との関係】

満足度		回答者数	とても満足している	おおむね満足している	やや不満である	大変不満である	無回答
相談窓口							
全体	人数	183	40	96	26	6	15
	構成比		21.9%	52.5%	14.2%	3.3%	8.2%
1 区の障害福祉課	人数	37	7	21	7	1	1
	構成比		18.9%	56.8%	18.9%	2.7%	2.7%
2 豊島区立心身障害者福祉センター	人数	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 東部・西部障害支援センター	人数	7	2	5	0	0	0
	構成比		28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%
4 保健所・健康相談所	人数	9	1	6	2	0	0
	構成比		11.1%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%
1, 2, 3, 4以外の区役所窓口	人数	6	2	4	0	0	0
	構成比		33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
社会福祉協議会	人数	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学校	人数	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業所・施設	人数	41	11	24	3	1	2
	構成比		26.8%	58.5%	7.3%	2.4%	4.9%
民生委員・児童委員	人数	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
病院・診療所	人数	28	6	14	6	0	2
	構成比		21.4%	50.0%	21.4%	0.0%	7.1%
その他	人数	13	5	7	0	1	0
	構成比		38.5%	53.8%	0.0%	7.7%	0.0%
特になし	人数	21	3	6	4	3	5
	構成比		14.3%	28.6%	19.0%	14.3%	23.8%
無回答	人数	21	3	9	4	0	5
	構成比		14.3%	42.9%	19.0%	0.0%	23.8%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

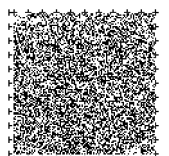
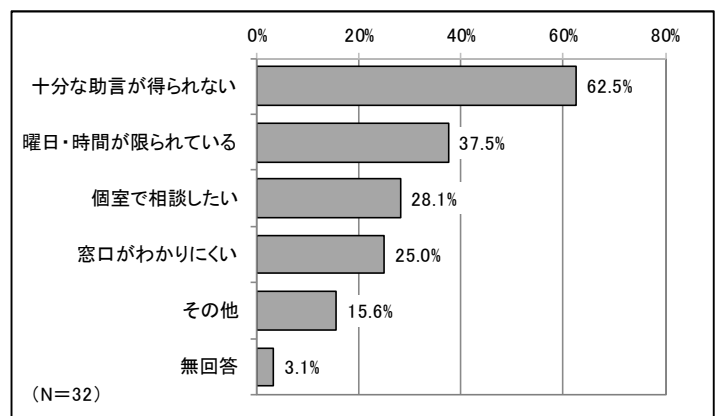
(4) 不満を感じる理由

【問 15 で「やや不満である」「大変不満である」と回答したかたのみ】

問 15-1 不満な理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「十分な助言が得られない」が 62.5%

相談対応に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が 62.5%と最も多く、次いで「曜日・時間が限られている」が 37.5%となっています。



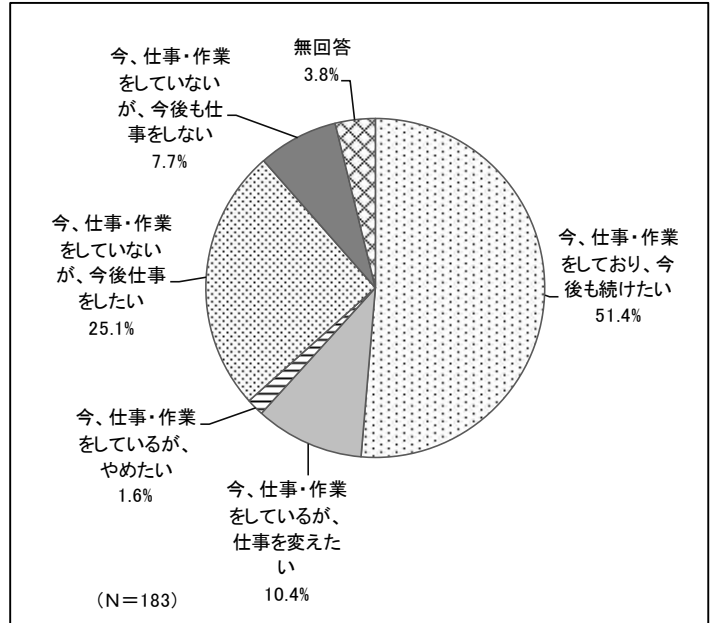
4 就労の状況

(1) 現在の就労状況と今後の就労意向

問 16 あなたは今、仕事・作業をしていますか。また、これからはどうしたいとお考えですか。(○は1つ)

「今、仕事・作業をしており、今後も続けたい」が51.4%

現在の就労状況と今後の就労意向は、「今、仕事・作業をしており、今後も続けたい」が51.4%と最も多く、次いで「今、仕事・作業をしていないが、今後仕事をしたい」が25.1%となっています。



(2) 現在の就労の形態

【問 16 で、「今、仕事・作業をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業をしているが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業をしているが、やめたい」と回答したかたのみ】

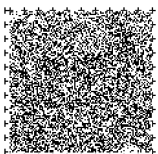
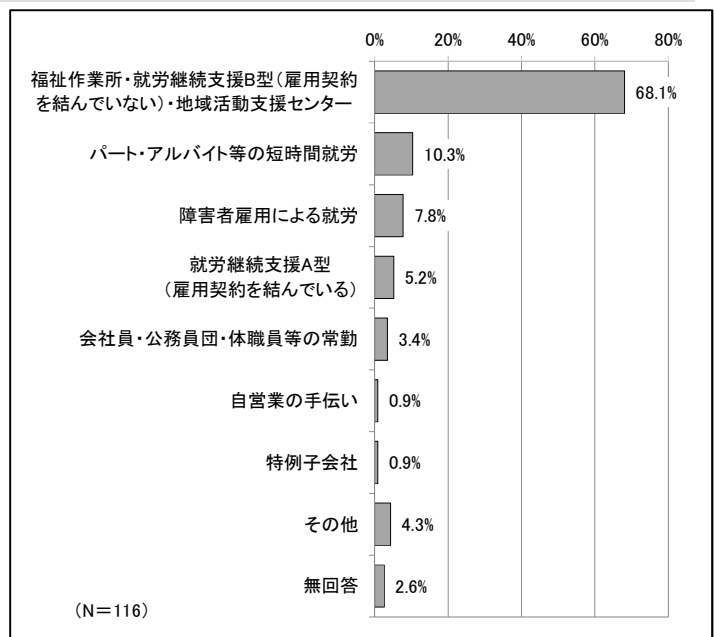
問 16-1 あなたは、どのような仕事・作業をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「福祉作業所・就労継続支援B型(雇用契約を結んでいない)・地域活動支援センター」が68.1%

今、仕事・作業をしているかたの現在の就労の形態は、「福祉作業所・就労継続支援B型(雇用契約を結んでいない)・地域活動支援センター」が68.1%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等の短時間就労」が10.3%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

「自営業」、「内職」



(3) 現在の収入

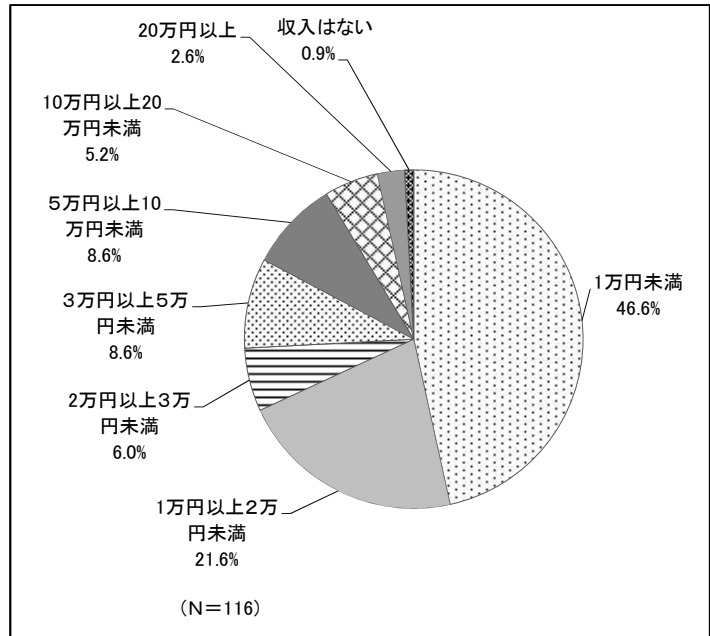
【問 16 で、「今、仕事・作業をしており、今後も続けたい」、「今、仕事・作業をしているが、仕事は変えたい」、「今、仕事・作業をしているが、やめたい」と回答したかたのみ】

問 16-2 仕事・作業で得る 1 か月の収入はおおよそどれくらいですか。(〇は1つ)

「1 万円未満」が 46.6%

今、仕事・作業をしているかたの現在の月収は、「1 万円未満」が 46.6%と最も多く、次いで「1 万円以上 2 万円未満」が 21.6%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：
「無回答」



(4) 現在の仕事・作業を見つけた方法

【問 16 で、「今、仕事・作業をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業をしているが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業をしているが、やめたい」と回答したかたのみ】

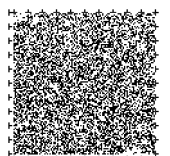
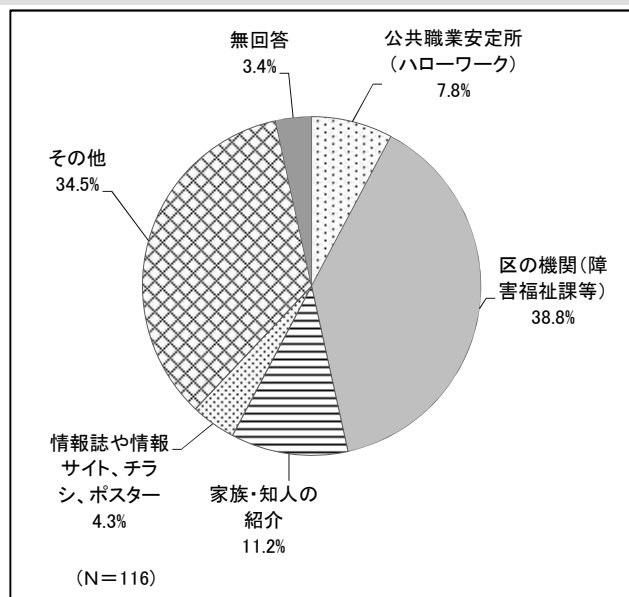
問 16-3 今の仕事・作業は、どのような方法で見つけましたか。(〇は1つ)

「区の機関（障害福祉課等）」が 38.8%

今、仕事・作業をしているかたの現在の仕事・作業を見つけた方法は、「区の機関（障害福祉課等）」が 38.8%と最も多く、次いで「家族・知人の紹介」が 11.2%となっています。

「その他」としては、前の職場からの紹介という回答がありました。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：
「学校の紹介」



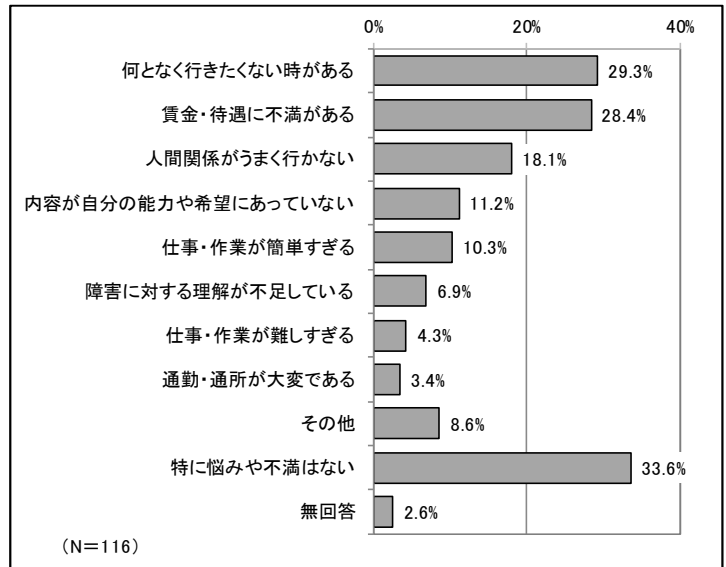
(5) 現在の仕事・作業に対する悩みや不満

【問 16 で、「今、仕事・作業をしており、今後も続けたい」「今、仕事・作業をしているが、仕事は変えたい」「今、仕事・作業をしているが、やめたい」と回答したかたのみ】

問 16-4 今の仕事・作業について、悩みや不満はありますか。(あてはまるもの3つまで○)

「特に悩みや不満はない」が 33.6%

今、仕事・作業をしているかたの仕事・作業に対する悩みや不安は、「特に悩みや不満はない」が 33.6%と最も多く、次いで「何となく行きたくない時がある」が 29.3%となっています。



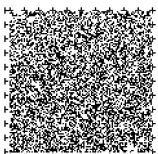
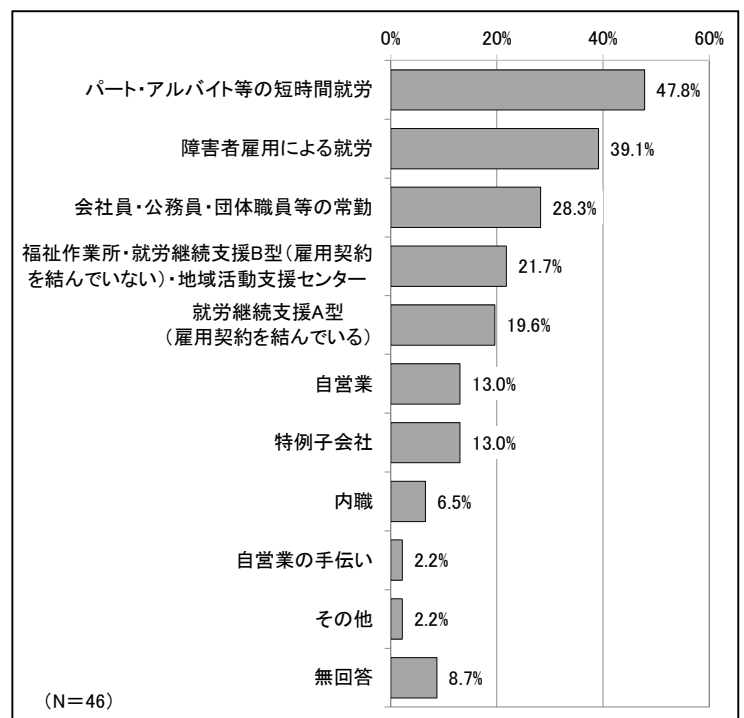
(6) 今後希望する就労の形態

【問 16 で、「今、仕事・作業をしていないが、今後仕事をしたい」と回答したかたのみ】

問 17 あなたは、今後どのような仕事・作業をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

「パート・アルバイト等の短時間就労」が 47.8%

希望する就労の形態は、「パート・アルバイト等の短時間就労」が 47.8%と最も多く、次いで「障害者雇用による就労」が 39.1%となっています。



(7) 現在、仕事・作業をしていない主な理由

【問 16 で、「今、仕事・作業をしていないが、今後仕事をしたい」「今、仕事・作業をしていないが、今後も仕事をしない」と回答したかたのみ】

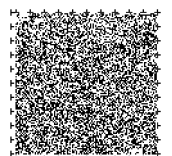
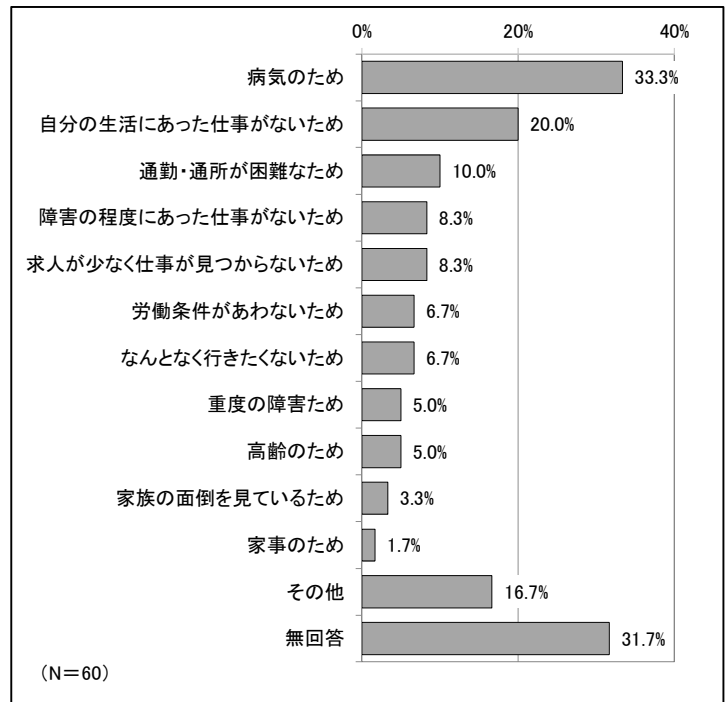
問 18 仕事・作業をしていない理由は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

「病気のため」が 33.3%

今、仕事・作業をしていないかたのその主な理由は、「病気のため」が 33.3%と最も多く、次いで「自分の生活にあった仕事がないため」が 20.0%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「仕事をする必要がないため」



5 サービスの利用や今後の利用

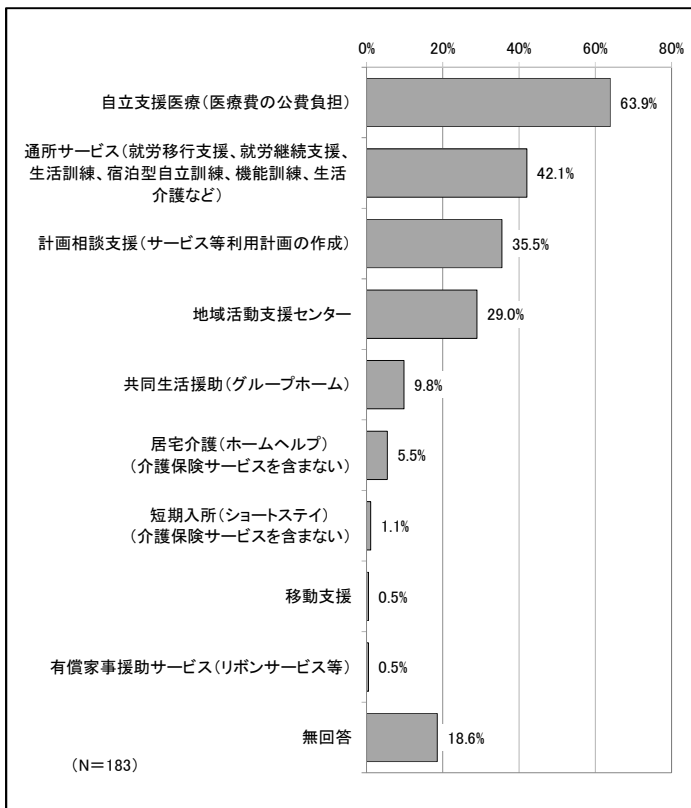
(1) サービスの利用状況や今後の利用希望

問 19 あなたは現在利用しているサービス、今後利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)また、感じていることを自由意見欄にご記入ください。

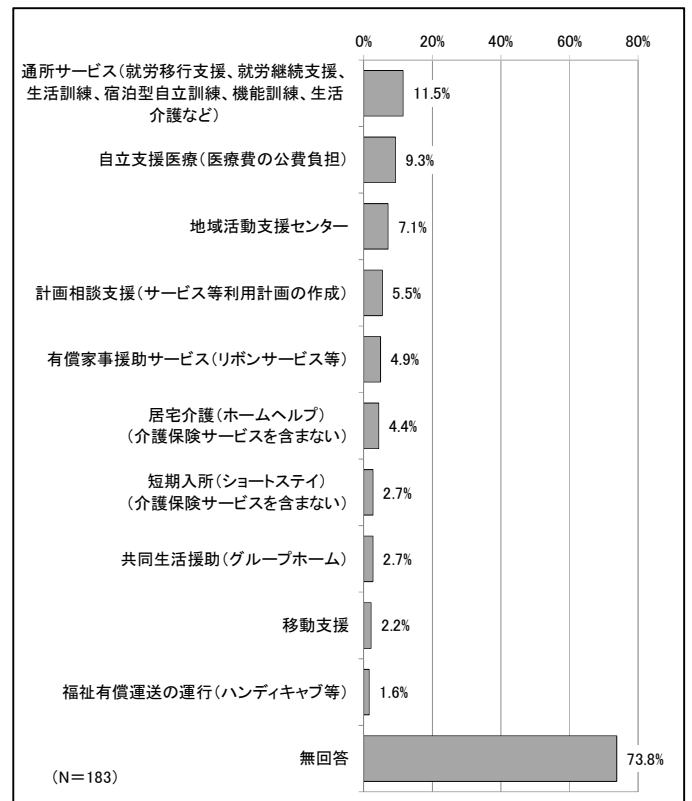
「現在利用しているサービス」は、「自立支援医療（医療費の公費負担）」が 63.9%

「今後利用したいサービス」は、「通所サービス（就労移行支援、就労継続支援、生活訓練、宿泊型自立訓練、機能訓練、生活介護など）」が 11.5%

【現在利用しているサービス】

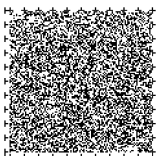


【今後利用したいサービス】



※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「福祉有償運送の運行(ハンディキャブ等)」

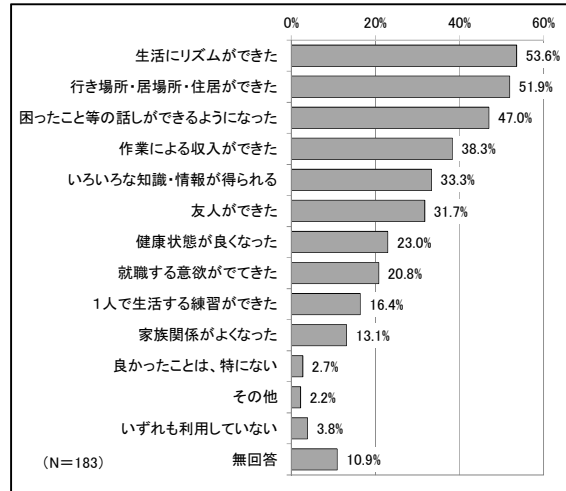


(2) 障害者のための就労施設を利用して良かったこと

問 20 就労移行支援、就労継続支援 A 型/B 型、生活訓練、宿泊型自立訓練、機能訓練、生活介護、地域活動支援センター、グループホーム等を利用して良かったと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「生活にリズムができた」が 53.6%

障害者のための就労施設を利用して良かったことは、「生活にリズムができた」が 53.6% と最も多く、次いで「行き場所・居場所・住居ができた」が 51.9% 「困ったこと等の話し相手ができるようになった」が 47.0% となっています。

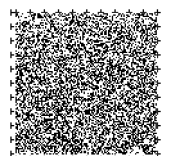
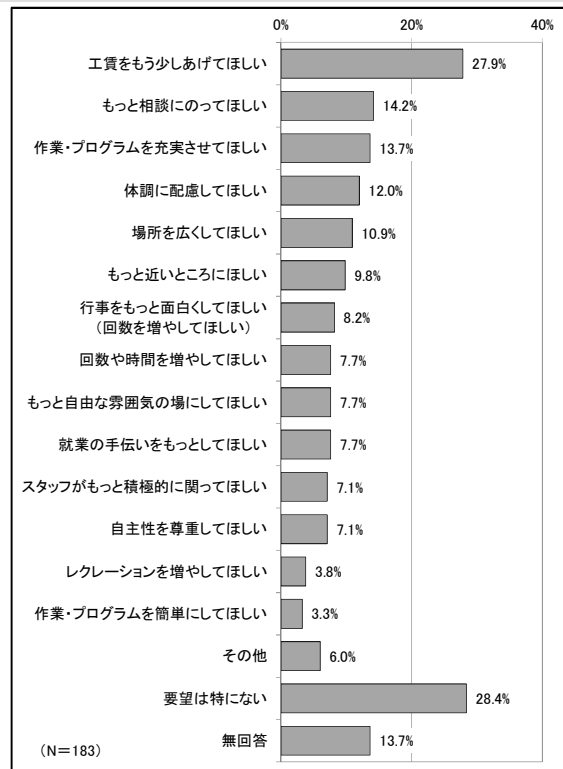


(3) 障害者のための就労施設に対する要望

問 21 就労移行支援、就労継続支援 A 型/B 型、生活訓練、宿泊型自立訓練、機能訓練、生活介護、地域活動支援センター、グループホーム等にどのような要望をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

「工賃をもう少しあげてほしい」が 27.9%

障害者のための就労施設への要望は、「工賃をもう少しあげてほしい」が 27.9% と最も多く、次いで「もっと相談にのってほしい」が 14.2% となっています。



V 精神障害者調査

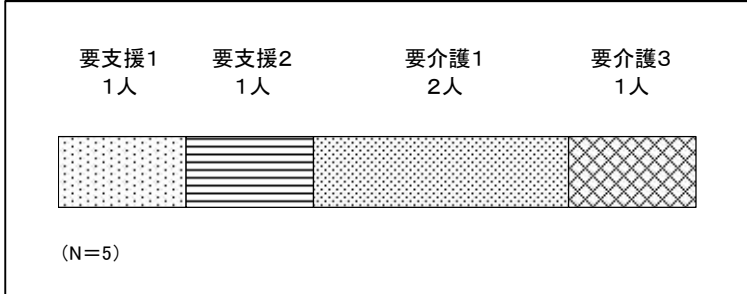
5 サービスの利用や今後の利用

(4) 介護保険の認定の状況

問 22 介護保険の認定を受けているかたは要介護状態区分を教えてください。(○は1つ)

※回答者が少ないため、図は参考程度となります。

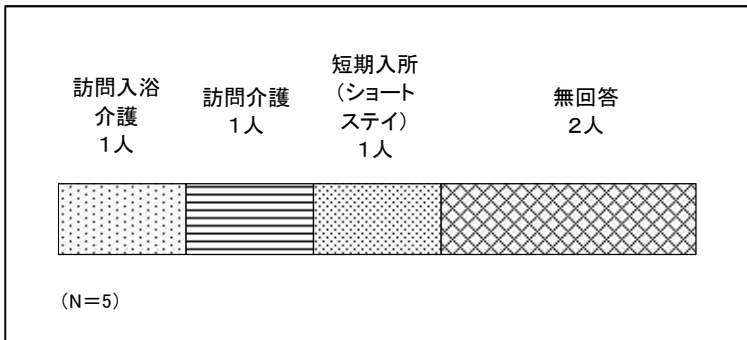
※母数は無回答を除いたもの



(5) 利用している介護保険サービス

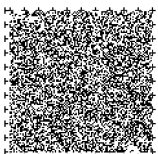
問 23 介護保険サービスを利用しているかたはその内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

※回答者が少ないため、図は参考程度となります。



※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「訪問介護(ホームヘルプサービス)」、「訪問リハビリテーション」、「訪問看護」、「通所介護(デイサービス)」、「通所リハビリテーション(デイケア)」、「介護予防サービス」、「福祉用具レンタル・購入」、「その他」



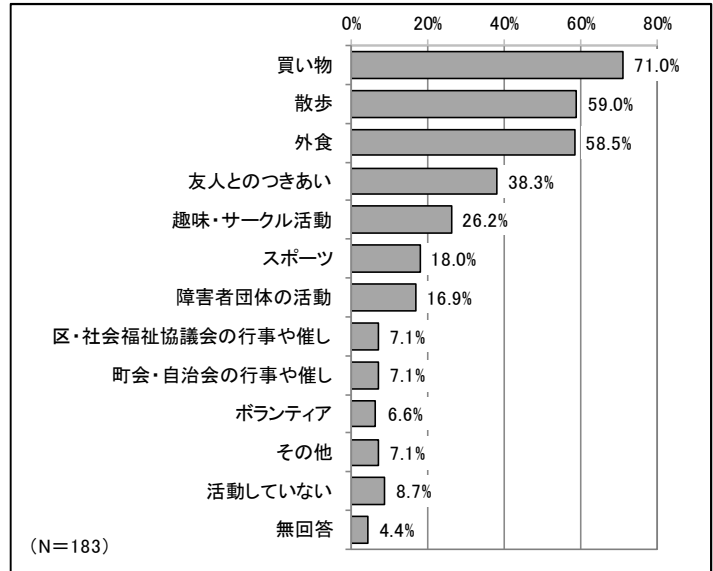
6 社会参加等

(1) 最近 1 年間に行った活動

問 24 最近 1 年間に、どのような活動をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

「買い物」が 71.0%

最近 1 年間に行った活動は、「買い物」が 71.0%と最も多く、次いで「散歩」が 59.0%となっています。



(2) 活動しにくい理由

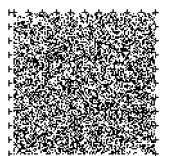
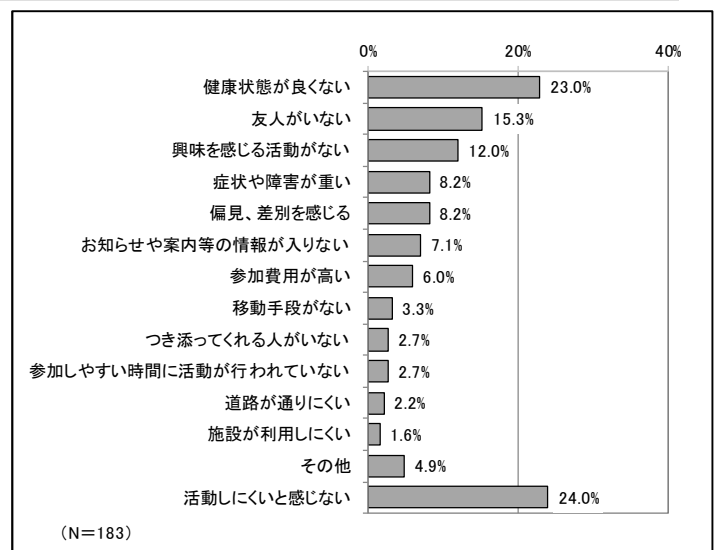
問 25 活動する際に、何か困ること、活動しにくいと感じることはありますか。(あてはまるもの3つまで○)

「健康状態が良くない」が 23.0%

活動しにくい理由は、「健康状態が良くない」が 23.0%と最も多く、次いで「友人がいない」が 15.3%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「無回答」

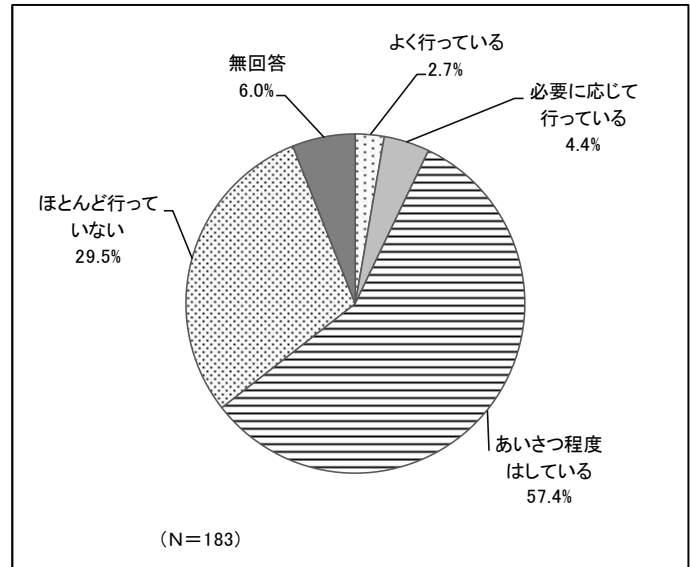


(3) 近所つき合い

問 26 ご近所とのつき合いは、次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

「あいさつ程度はしている」が57.4%

近所つき合いは、「あいさつ程度はしている」が57.4%と最も多く、次いで「ほとんど行っていない」が29.5%となっています。

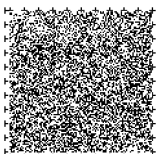
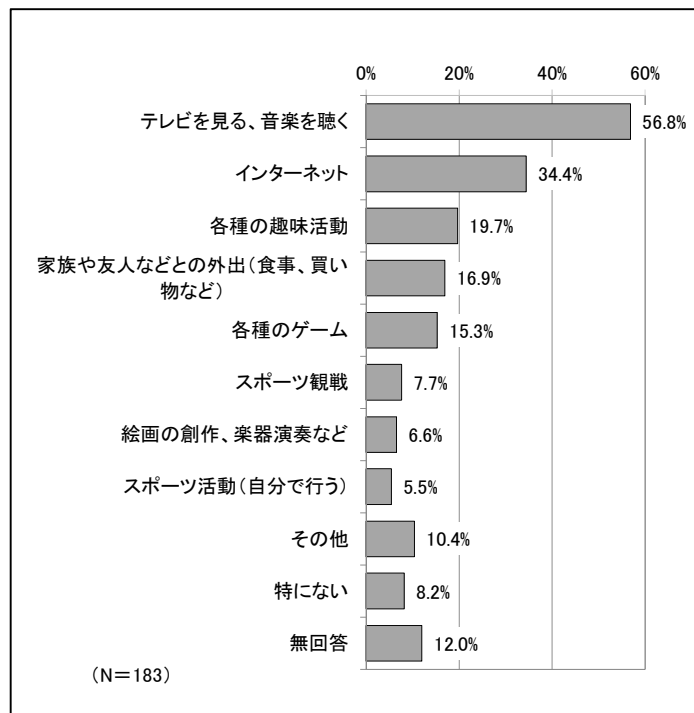


(4) 現在楽しんでいる余暇活動

問 27 あなたが今楽しんでいる余暇活動は何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

「テレビを見る、音楽を聴く」が56.8%

現在楽しんでいる余暇活動は、「テレビを見る、音楽を聴く」が56.8%と最も多く、次いで「インターネット」が34.4%となっています。

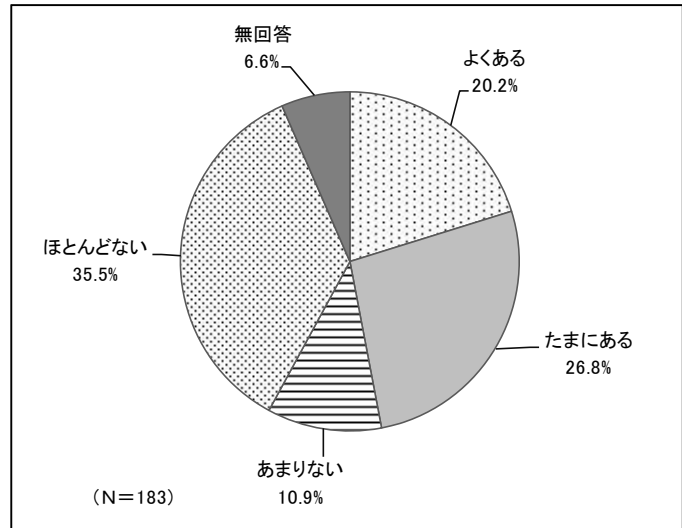


(5) 障害のない人との交流

問 28 「家族」「施設職員」「職場の人」以外で、障害のない人と交流する(「会話をする」「一緒に何か活動を行う」等)ことはありますか。(〇は1つ)

「ほとんどない」が 35.5%

障害のない人との交流は、「ほとんどない」が 35.5%と最も多く、次いで「たまにある」が 26.8%となっています。

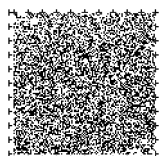
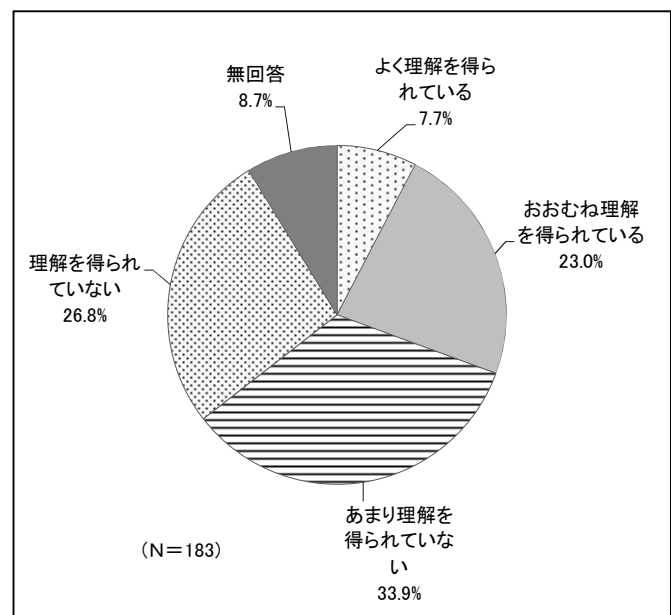


(6) 地域のかたがたの障害・疾病に対する理解

問 29 地域で暮らす上で、障害や疾病に対して理解を得られていると感じていますか。(〇は1つ)

《理解を得られている》が 30.7%、《理解を得られていない》が 60.7%

地域のかたがたの障害・疾病に対する理解は、「よく理解を得られている」が 7.7%、「おおむね理解を得られている」が 23.0%で両者を合わせた《理解を得られている》は 30.7%となっています。一方、「あまり理解を得られていない」は 33.9%、「理解を得られていない」は 26.8%、両者を合わせた《理解を得られていない》は 60.7%となっています。

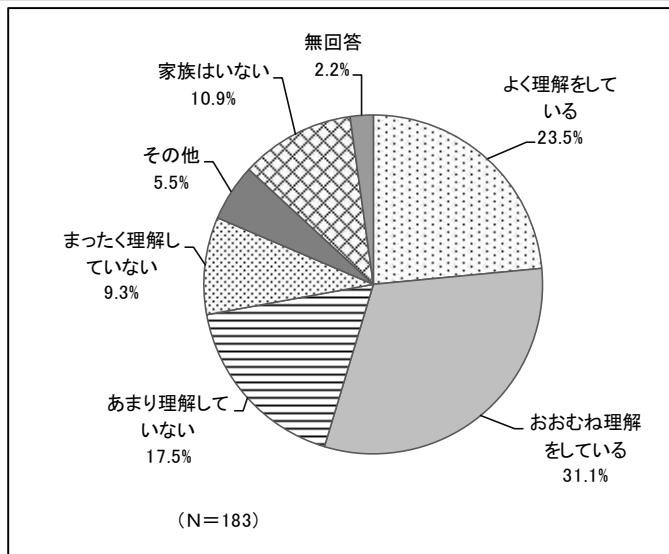


(7) 家族の疾病に対する理解

問 30 あなたのご家族は、あなたの病気について、十分理解していると思いますか。(〇は1つ)

《理解している》が 54.6%、《理解をしていない》が 26.8%

家族の疾病に対する理解は、「よく理解している」が 23.5%、「おおむね理解している」が 31.1%で両者を合わせた《理解をしている》は 54.6%となっています。一方、「あまり理解していない」は 17.5%、「まったく理解をしていない」は 9.3%、両者を合わせた《理解をしていない》は 26.8%となっています。



(8) 障害者団体の活動に参加していない理由

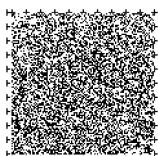
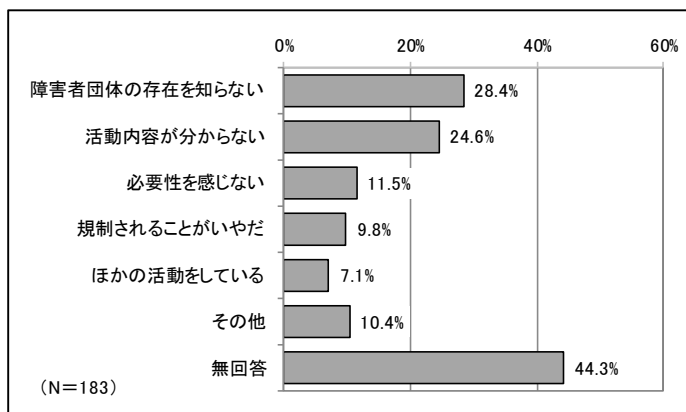
問 31 【障害者団体の活動に参加していないかたのみ】

参加していない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに〇)

「障害者団体の存在を知らない」が 28.4%

障害者団体の活動に参加していない理由は、「障害者団体の存在を知らない」が 28.4%と最も多く、次いで「活動内容が分からない」が 24.6%となっています。

「その他」としては、作業所等で他障害者のかたとつながっているため必要ないという回答がありました。

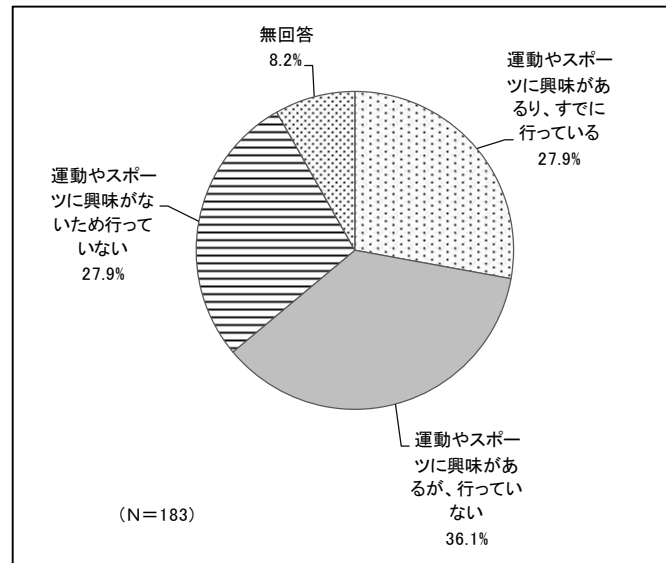


(9) 運動やスポーツへの活動意向と現況

問 32 運動やスポーツを行いたいと思いますか、また、行っていますか。(○は1つ)

「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が 36.1%

運動やスポーツへの活動意向と現況は、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が 36.1%と最も多く、次いで「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」「運動やスポーツに興味がないため行っていない」が 27.9%となっています。



(10) 運動やスポーツの実施頻度

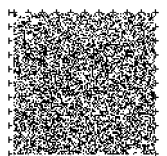
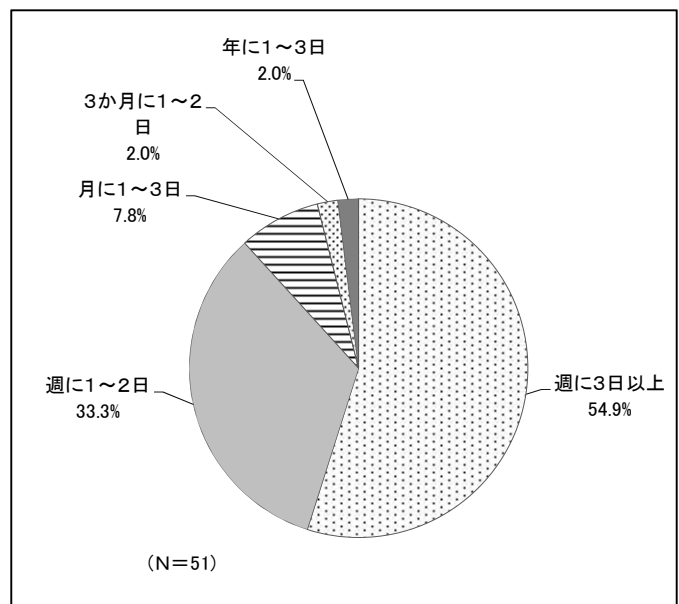
【問 32 で、「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」と回答したかたのみ】

問 32-1 運動やスポーツをどれくらいの頻度で実施していますか。(○は1つ)

「週に3日以上」が 54.9%

運動やスポーツを行っているかたの実施頻度は、「週に3日以上」が 54.9%と最も多く、次いで「週に1～2日」が 33.3%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載：
「無回答」

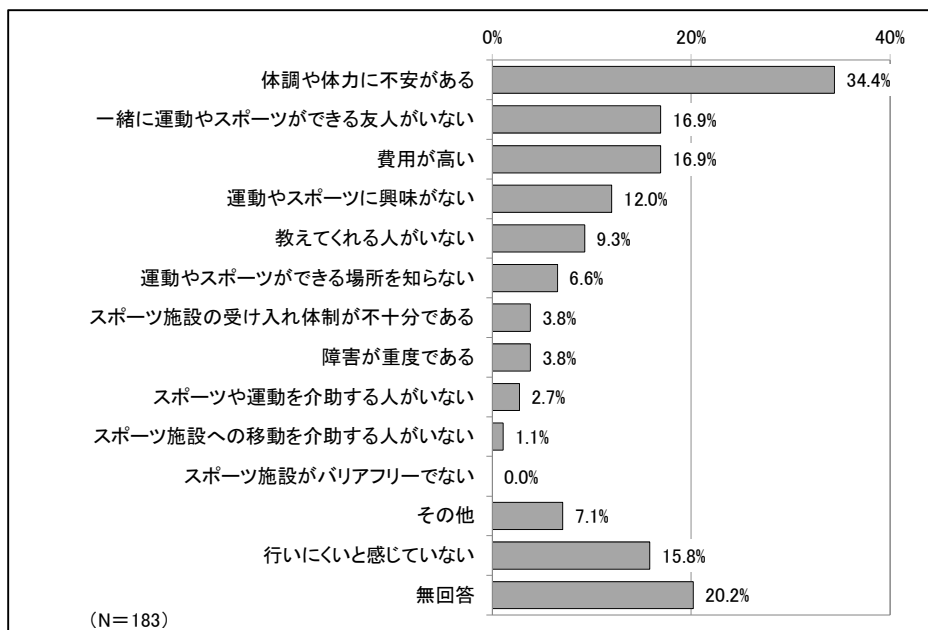


(11) 運動やスポーツを行いにくいと感ずること

問 33 運動やスポーツをする際に、何か困ること、行いにくいと感ずることはありますか。(あてはまるもの3つまで○)

「体調や体力に不安がある」が 34.4%

運動やスポーツを行いにくいと感ずることは、「体調や体力に不安がある」が 34.4%と最も多く、次いで「一緒に運動やスポーツができる友人がない」「費用が高い」が 16.9%となっています。



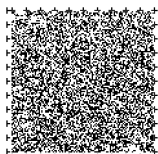
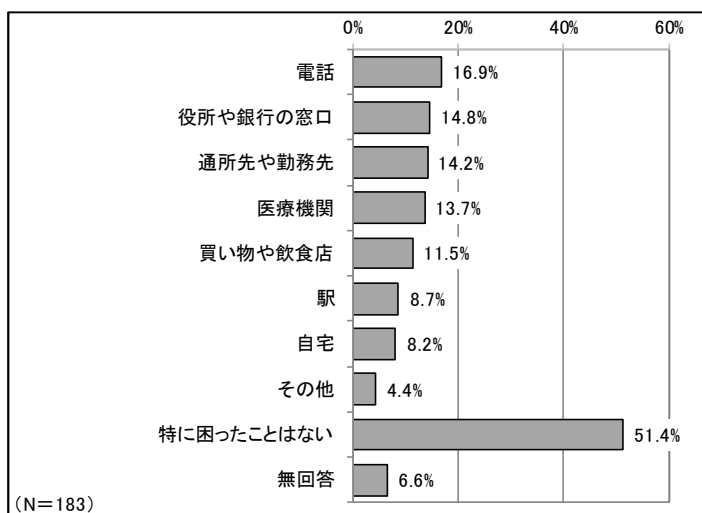
7 意思疎通の状況

(1) コミュニケーションに困った場所・場面

問 34 この1年間に、コミュニケーションに困った場所や場面はどこでしたか。(あてはまるものすべてに○)

「電話」が 16.9%

コミュニケーションに困った場所・場面は、「特に困ったことはない」を除くと、「電話」が 16.9%と最も多く、次いで「役所や銀行の窓口」が 14.8%となっています。



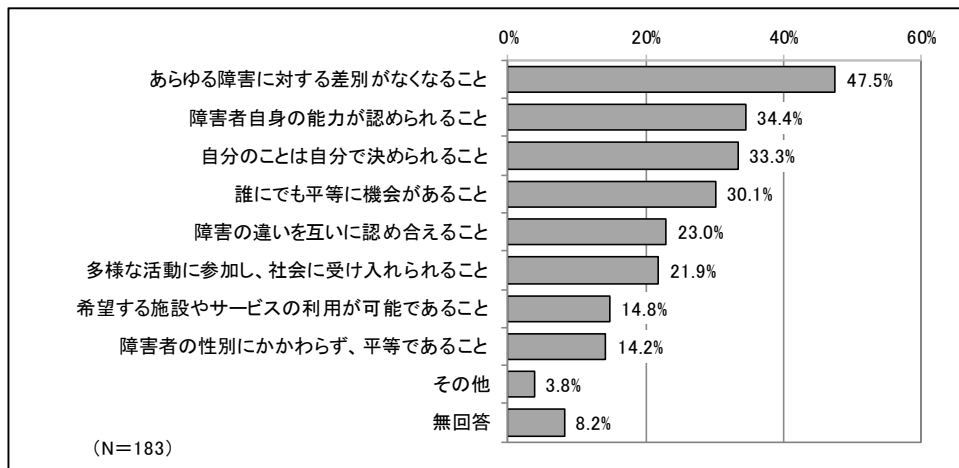
8 障害者の権利

(1) 障害者の権利を守るために充実すべき内容

問 35 平成 18 年(2006 年)に、国連では、「障害者の権利に関する条約」が採択されました。今後、障害者の権利を守るために、特に充実させるべき内容はどれですか。(あてはまるもの3つまで)

「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 47.5%

障害者の権利を守るために充実すべき内容は、「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が 47.5% と最も多く、次いで「障害者自身の能力が認められること」が 34.4% となっています。

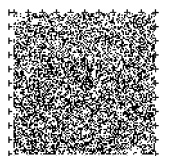
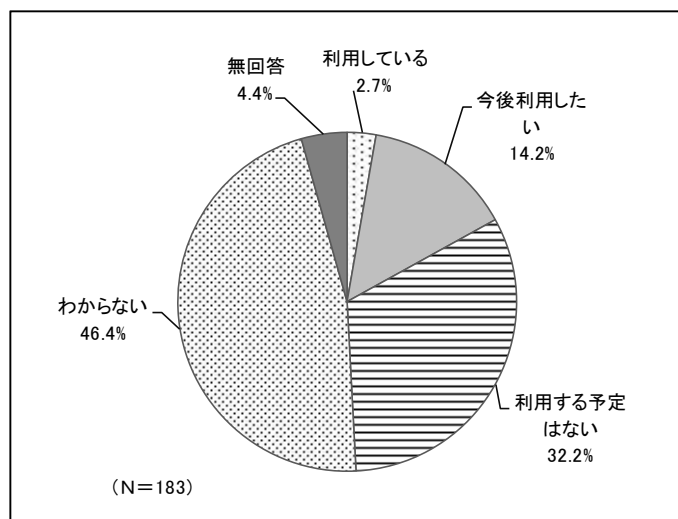


(2) 成年後見制度の利用意向

問 36 成年後見とは、障害などで判断能力が不十分な人の「財産」や「権利」を保護し、支援していく制度です。あなたは、成年後見制度を利用したいですか。(○は1つ)

「わからない」が 46.4%

成年後見制度の利用意向は、「わからない」が 46.4% と最も多く、次いで「利用する予定はない」が 32.2% となっています。

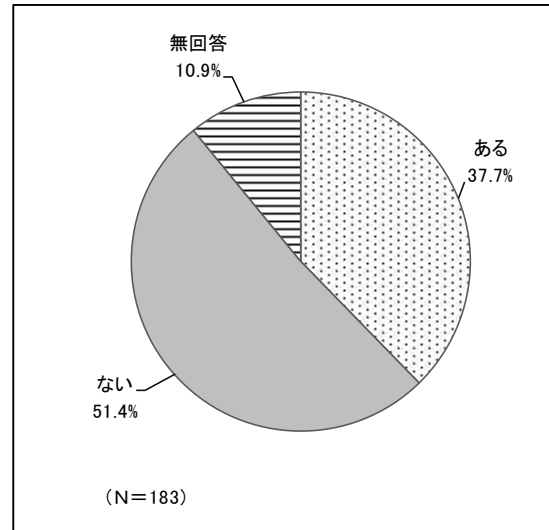


(3) 虐待を受けた経験

問 37 あなたは、いままでに自分の身体や心を傷つけられた(虐待された)ことがありますか。(○は1つ)

「ある」は 37.7%

虐待を受けた経験は、「ない」が 51.4%、「ある」が 37.7%となっています。



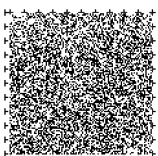
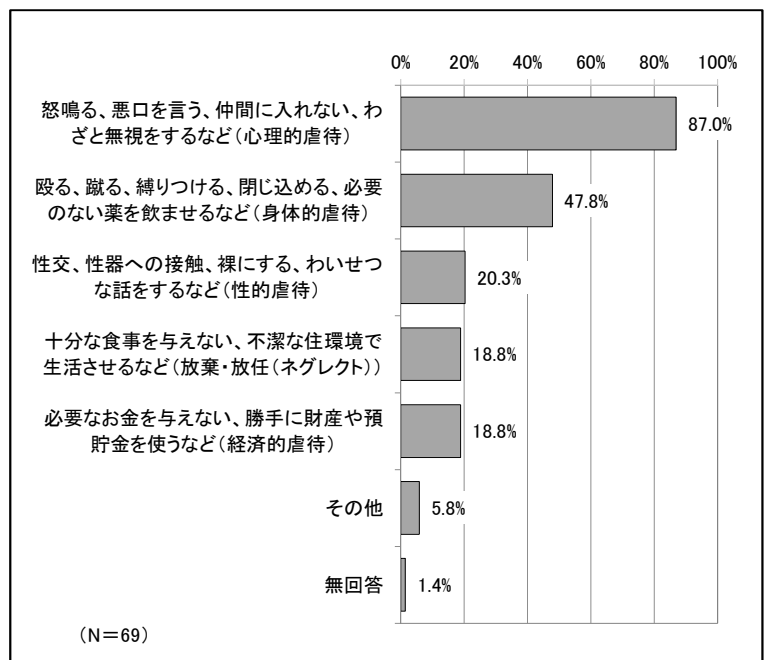
(4) 受けたことがある虐待の内容

【問 37 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 37-1 虐待の内容はどのような内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

「怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視をするなど(心理的虐待)」が 87.0%

虐待を受けたことがあるかたの虐待の内容は、「怒鳴る、悪口を言う、仲間に入れない、わざと無視をするなど(心理的虐待)」が 87.0%と最も多く、次いで「殴る、蹴る、縛りつける、閉じ込める、必要のない薬を飲ませるなど(身体的虐待)」が 47.8%となっています。



(5) 受けたことがある虐待の相手

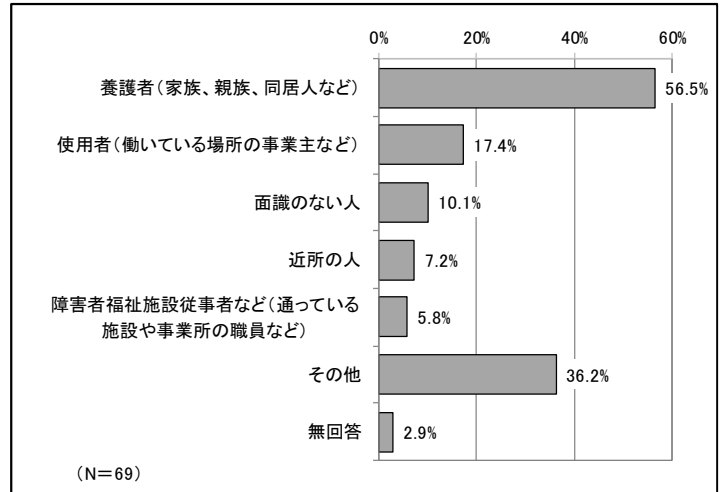
【問 37 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 37-2 誰から虐待を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

「養護者（家族、親族、同居人など）」が 56.5%

受けたことがある虐待の相手は、「養護者（家族、親族、同居人など）」が 56.5%と最も多く、次いで「使用者（働いている場所の事業主など）」が 17.4%となっています。

「その他」としては、同級生、友人という回答がありました。



(6) 虐待について相談した相手

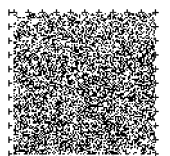
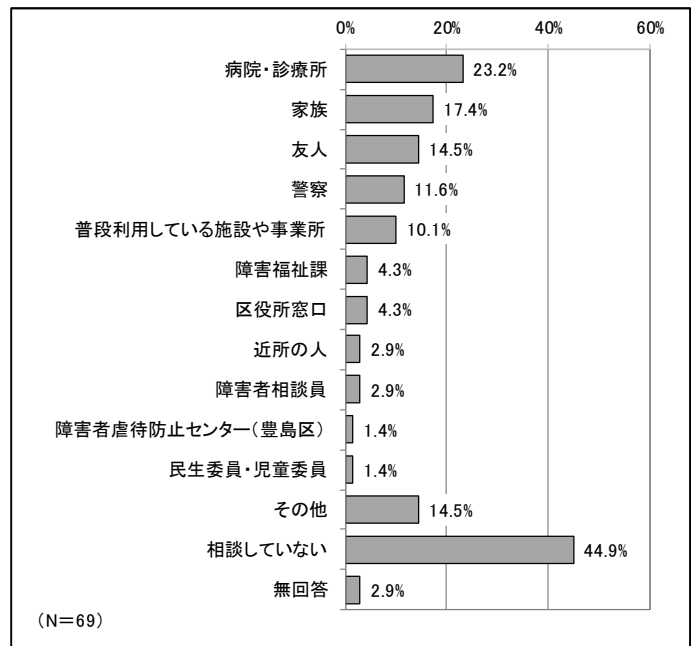
【問 37 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 37-3 虐待を受けた時、だれ(どこ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「病院・診療所」が 23.2%

「病院・診療所」が 23.2%と最も多く、次いで「家族」が 17.4%となっています。

なお、「相談していない」は、44.9%でした。

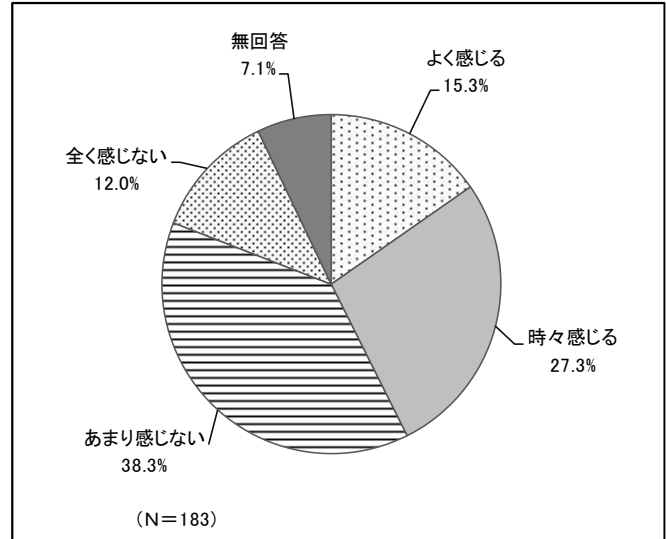


(7) 障害者への差別を感じること

問 38 平成 28 年 4 月に障害者差別解消法(正式名称:障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)が施行されましたが、障害者への差別を感じることはありますか。(〇は1つ)

《感じる》は 42.6%、《感じない》は 50.3%

障害者への差別を「よく感じる」は 15.3%、「時々感じる」は 27.3%、両者を合わせた《感じる》は 42.6%となっています。一方、「あまり感じない」は 38.3%、「全く感じない」は 12.0%、両者を合わせた《感じない》は 50.3%となっています。



(8) 障害者に対する差別を感じる時

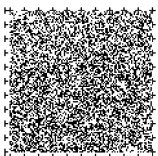
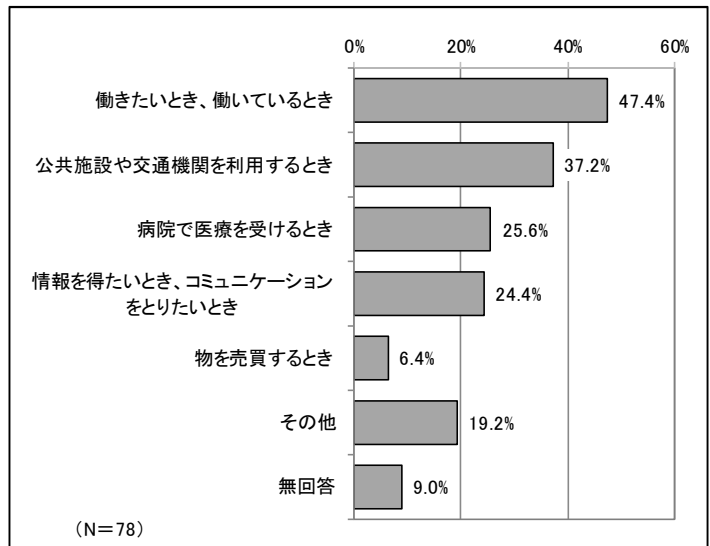
【問 38 で、「よく感じる」「時々感じる」と回答したかたのみ】

問 38-1 どのようなときに差別を感じますか。(あてはまるもの3つまで〇)

「働きたいとき、働いているとき」が 47.4%

「働きたいとき、働いているとき」が 47.4%と最も多く、次いで「公共施設や交通機関を利用するとき」が 37.2%となっています。

「その他」としては、インターネットでの記事、賃貸契約の時という回答がありました。

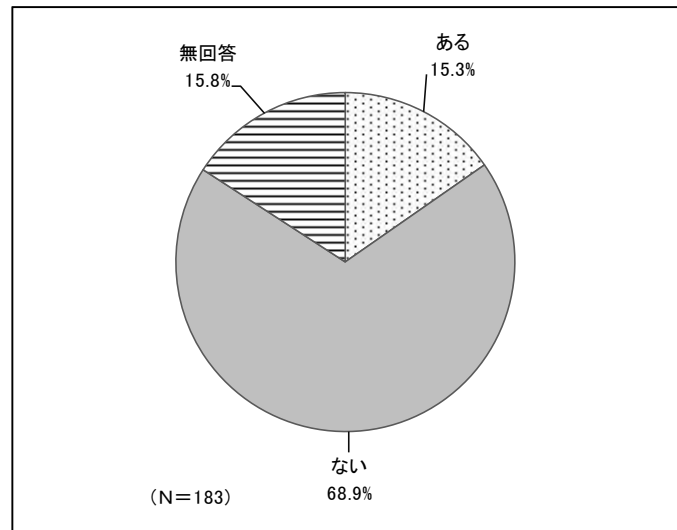


(9) 差別の相談経験

問 39 障害者への差別を感じたときに、相談をしたことはありますか。(○は1つ)

「ある」は 15.3%

差別の相談経験は、「ない」が 68.9%、「ある」が 15.3%となっています。



(10) 差別についての相談先

【問 39 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 39-1 どこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

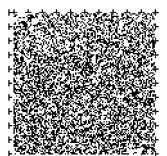
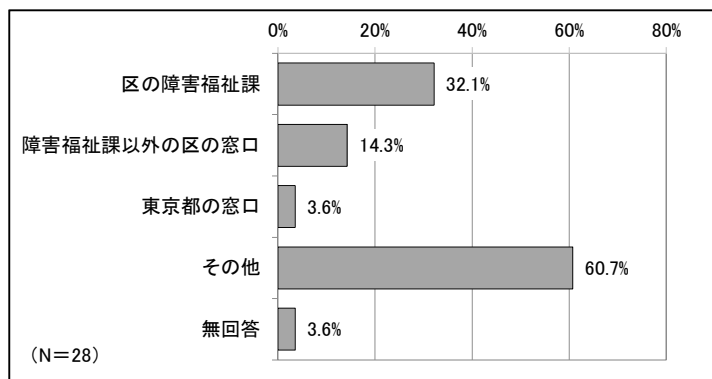
「区の障害福祉課」が 32.1%

差別の相談経験をしたことがあるかたの相談先は、「区の障害福祉課」が 32.1%と最も多く、次いで「障害福祉課以外の区の窓口」が 14.3%となっています。

「その他」としては、病院という回答が多くありました。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「国(内閣府)の窓口」



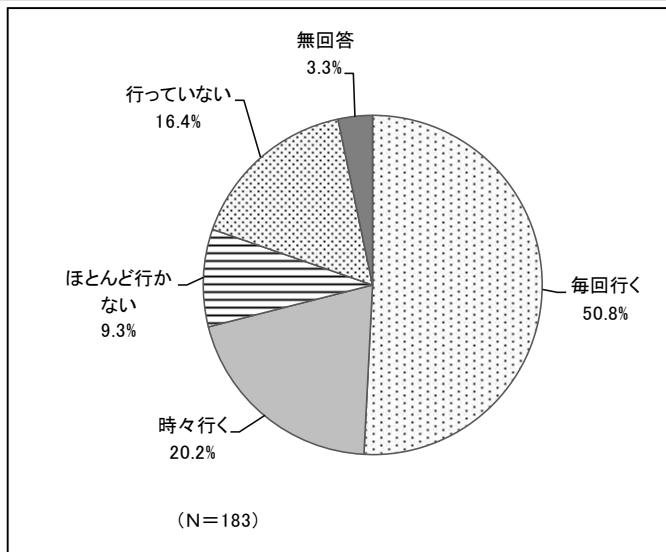
(11) 選挙への参加状況

問 40 あなたは選挙に行っていますか。(○は1つ)

《行く》は 71.0%

選挙への参加状況は、「毎回行く」が50.8%と最も多く、次いで「時々行く」が20.2%となっています。

「毎回行く」が50.8%、「時々行く」が20.2%、両者を合わせた《行く》は71.0%となっています。一方、「ほとんど行かない」が9.3%、「行っていない」が16.4%であり、両者を合わせた《行かない》は25.7%となっています。



(12) 選挙に行かない理由

【問 40 で、「ほとんど行かない」「行っていない」と回答したかたのみ】

問 40-1 選挙に行かない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

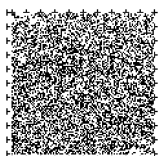
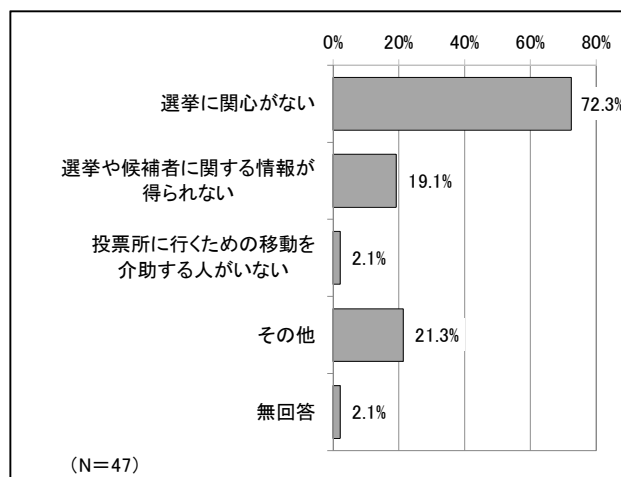
「選挙に関心がない」が 72.3%

選挙に行かないかたの理由は、「選挙に関心がない」が72.3%と最も多く、次いで「選挙や候補者に関する情報が得られない」が19.1%となっています。

「その他」としては、(投票しても)意味がないと思うからという回答がありました。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「投票所がバリアフリーではない」



9 外出の状況

(1) 外出の頻度

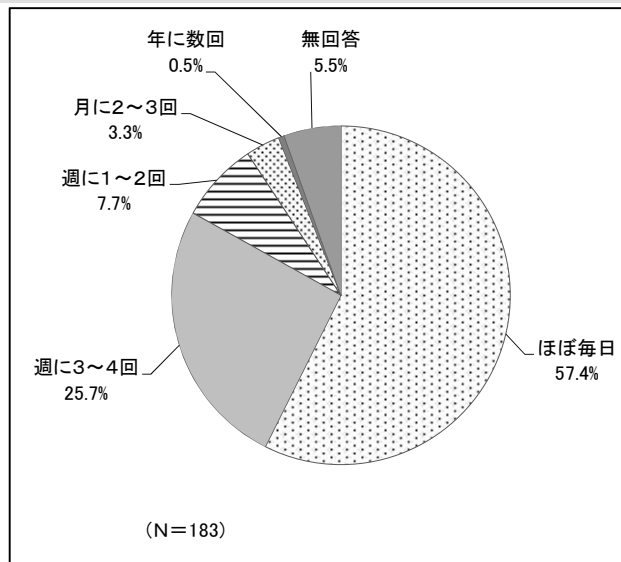
問 41 通院を含め、外出の頻度は、どのくらいですか。(○は1つ)

「ほぼ毎日」が57.4%

外出の頻度は、「ほぼ毎日」が57.4%と最も多く、次いで「週に3~4回」が25.7%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

「まったく外出しない」



(2) 外出しない理由

【問 41 で、「まったく出かけない」と回答したかたのみ】

問 41-1 外出しない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

該当者なし

(3) よく利用する外出手段

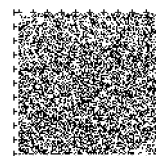
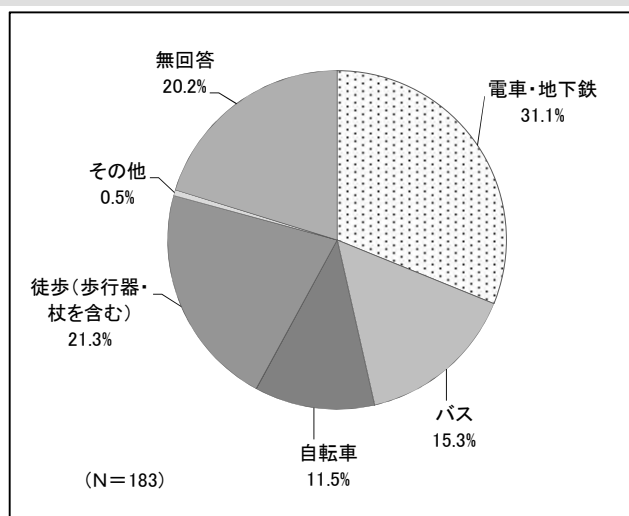
問 42 あなたがもっともよく利用する外出の方法は何ですか。(○は1つ)

「電車・地下鉄」が31.1%

よく利用する外出手段は、「電車・地下鉄」が31.1%と最も多く、次いで「徒歩(歩行器・杖を含む)」が21.3%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

「自分で運転する自動車」、「家族等が運転する自動車」、「電動車椅子」、「手動車椅子」、「タクシー」、「バギー」、「オートバイ」

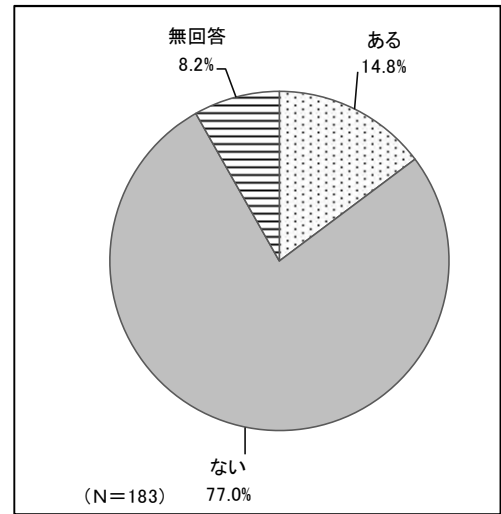


(4) 外出時にけがをした経験

問 43 外出時に、この1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」は 14.8%

外出時にけがをした経験は、「ない」が 77.0%、「ある」が 14.8%となっています。



(5) 外出時にけがをした理由

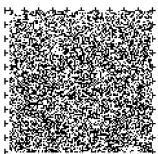
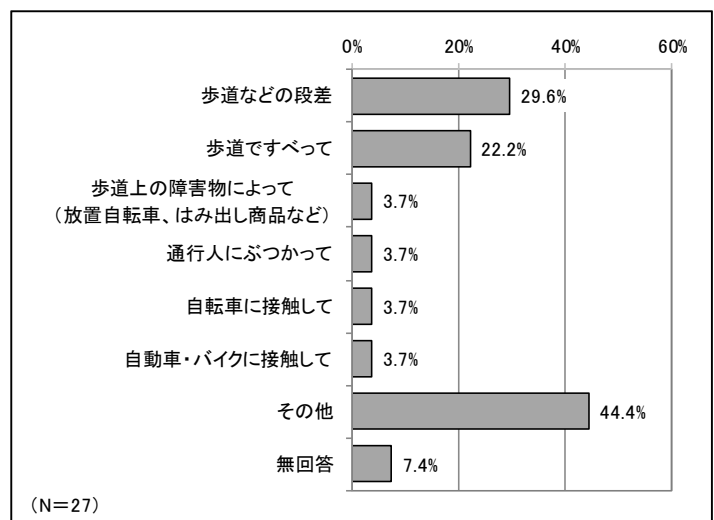
【問 43 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 43-1 「けが」をした理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

「歩道などの段差」が 29.6%

外出時にけがをしたことがあるかたの理由は、「歩道などの段差」が 29.6%と最も多く、次いで「歩道ですべて」が 22.2%となっています。

「その他」としては、自転車に乗っていて転倒、階段から落ちて、という回答がありました。

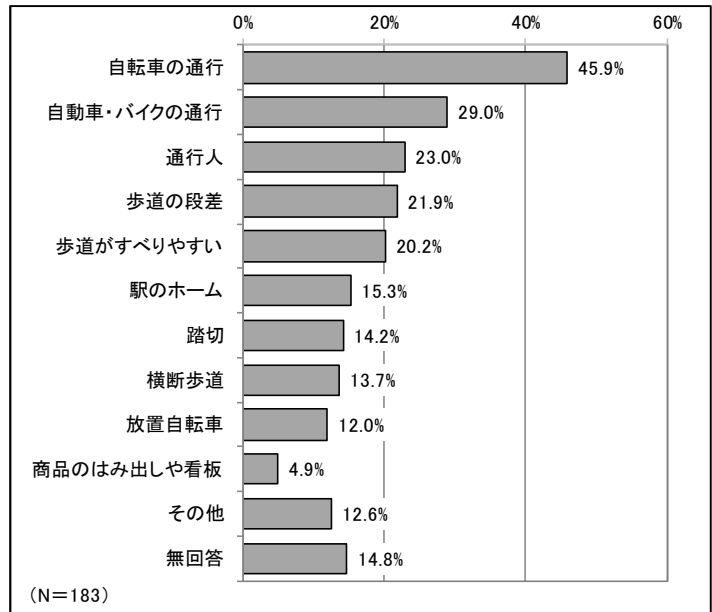


(6) 外出時に危険を感じたこと

問 44 最近、外出時に危険を感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自転車の通行」が 45.9%

外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が 45.9%と最も多く、次いで「自動車・バイクの通行」が 29.0%となっています。

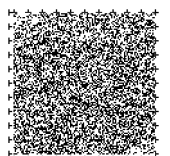
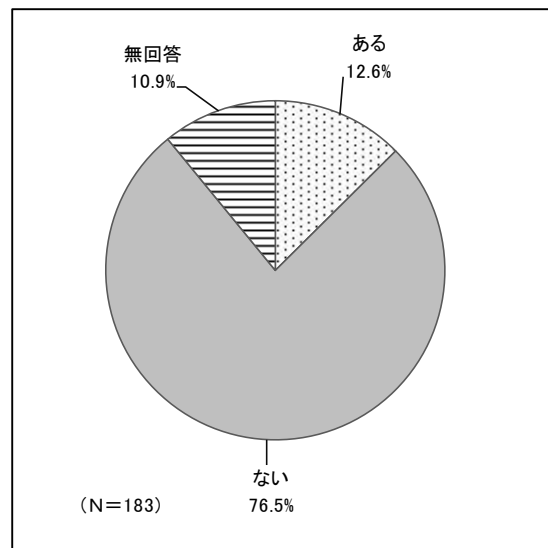


(7) 自宅内でけがをした経験

問 45 自宅内で、この1年以内に「けが」をしたことがありますか。(○は1つ)

「ある」は 12.6%

自宅内でけがをした経験は、「ない」が 76.5%、「ある」が 12.6%となっています。



(8) けがをした自宅内の場所

【問 45 で、「ある」と回答したかたのみ】

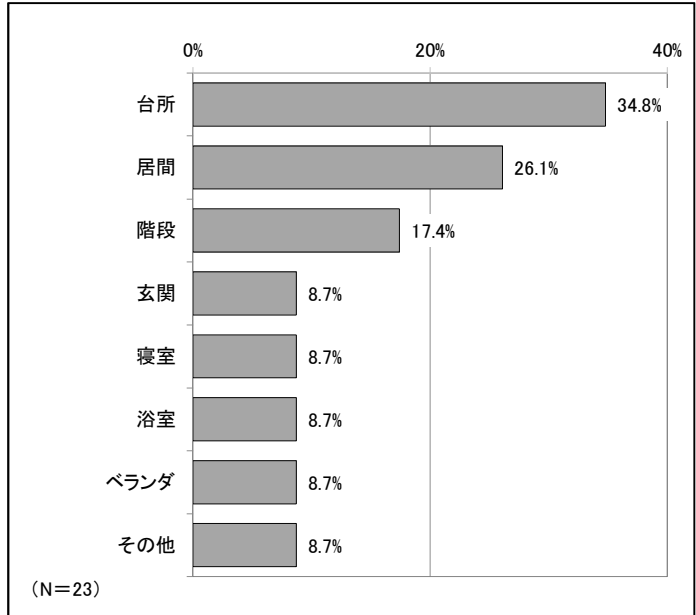
問 45-1 けがをした場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○)

「台所」が 34.8%

自宅内でけがをしたことがあるかたの場所は、「台所」が 34.8%と最も多く、次いで「居間」が 26.1%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「庭」、「無回答」

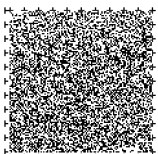
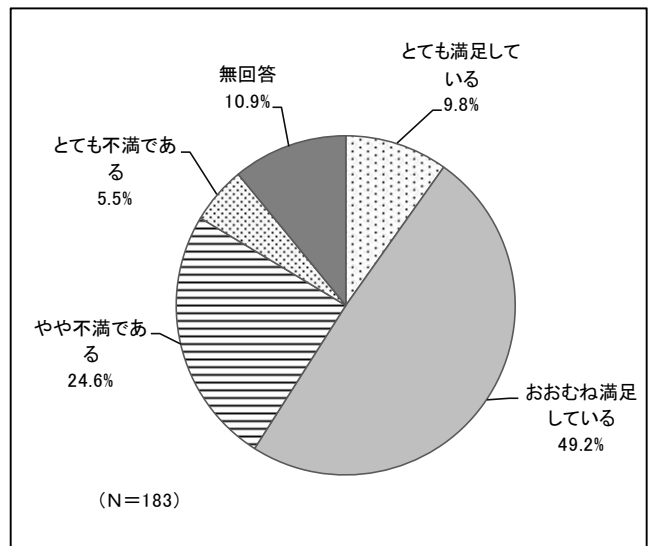


(9) まちのバリアフリーについての満足度

問 46 まちのバリアフリーについて満足していますか。(○は1つ)

《満足》は 59.0%、《不満》は 30.1%

まちのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」が 9.8%、「おおむね満足している」は 49.2%、両者を合わせた《満足》は 59.0%となっています。一方、「やや不満である」は 24.6%、「とても不満である」は 5.5%、両者をあわせた《不満》は 30.1%となっています。



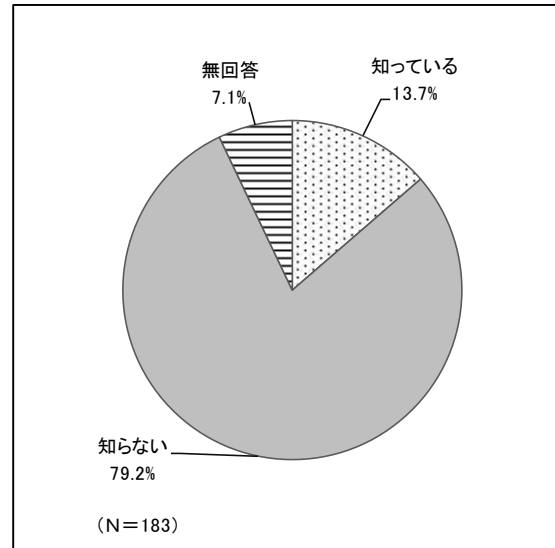
10 防災の意識・対策

(1) 豊島区障害者防災の手引きの認知度

問 47 あなたは、「豊島区障害者防災の手引き」を知っていますか。(〇は1つ)

「知らない」が79.2%

豊島区障害者防災の手引きの認知度は、「知らない」が79.2%、「知っている」が13.7%となっています。

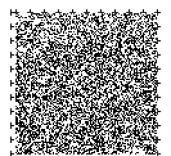
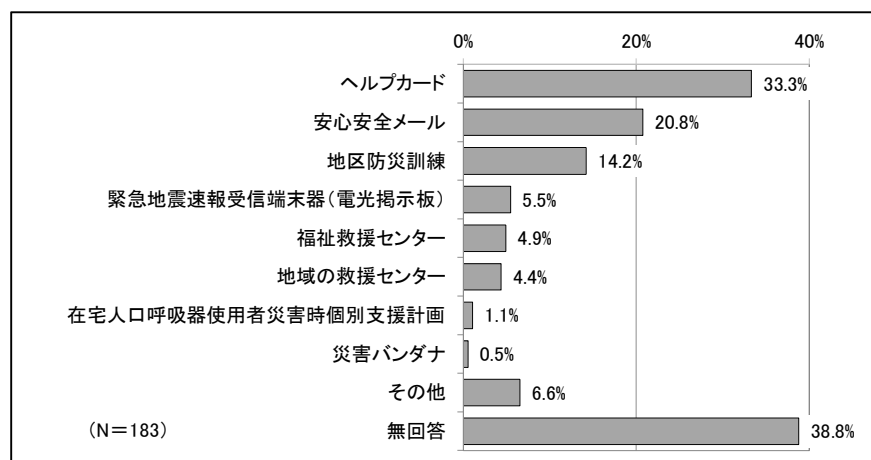


(2) 区の防災対策の認知度

問 48 豊島区が行っている以下の防災対策で、あなたが知っていること、場所は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

「ヘルプカード」が33.3%

区の防災対策の認知度は、「ヘルプカード」が33.3%と最も多く、次いで「安心安全メール」が20.8%となっています。

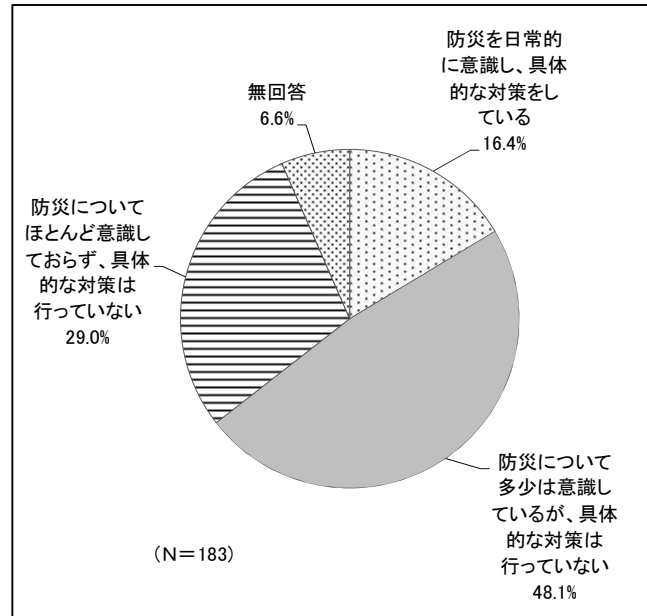


(3) 日常的な防災意識と防災対策の実施状況

問 49 あなたは日常的に防災を意識し、何か対策をしていますか。(○は1つ)

「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が 48.1%

日常的な防災意識と防災対策の実施状況は、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が 48.1%と最も多く、次いで「防災についてほとんど意識しておらず、具体的な対策は行っていない」が 29.0%となっています。



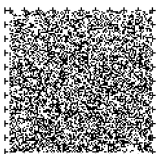
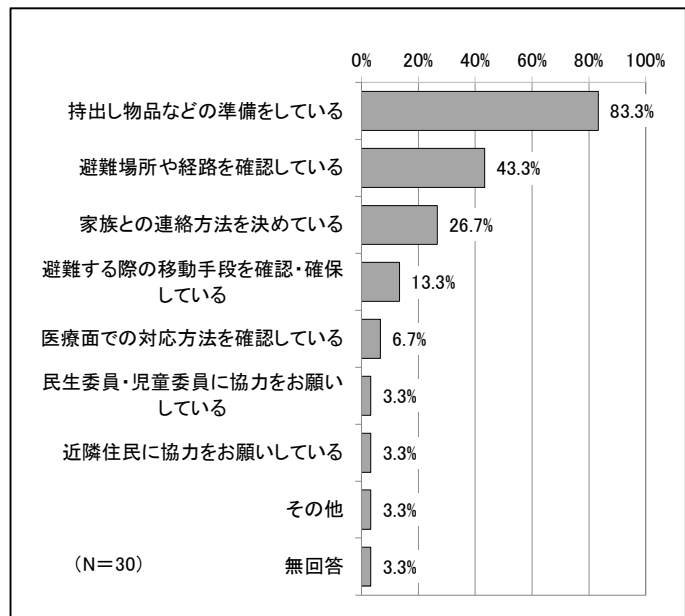
(4) 具体的に行っている準備

【問 49 で「防災を日常的に意識し、具体的な対策をしている」と回答したかたのみ】

問 49-1 災害時を想定し、あなたは具体的にどのような準備をしていますか。(○はいくつでも)

「持出し物品などの準備をしている」が 83.3%

具体的に行っている準備は、「持出し物品などの準備をしている」が 83.3%と最も多く、次いで「避難場所や経路を確認している」が 43.3%となっています。



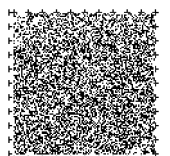
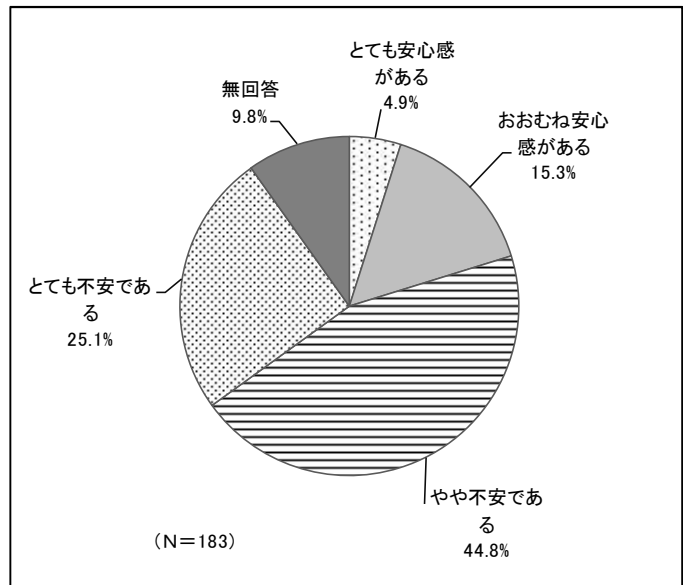
(5) 災害時を想定した対応方法に対する安心感の有無

問 50 あなたは災害時を想定した対応方法について、安心感がありますか。(○は1つ)

《不安》が 69.9%、《安心》が 20.2%

災害時を想定した対応方法に対する安心感
は、「やや不安である」が44.8%と最も多く、
次いで「とても不安である」が 25.1%とな
っています。

「やや不安である」と「とても不安である」
を合わせた《不安》は 69.9%となっていま
す。一方、「とても安心感がある」が 4.9%、
「おおむね安心感がある」が 15.3%であり、
両者を合わせた《安心》は 20.2%となっ
ています。

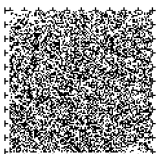
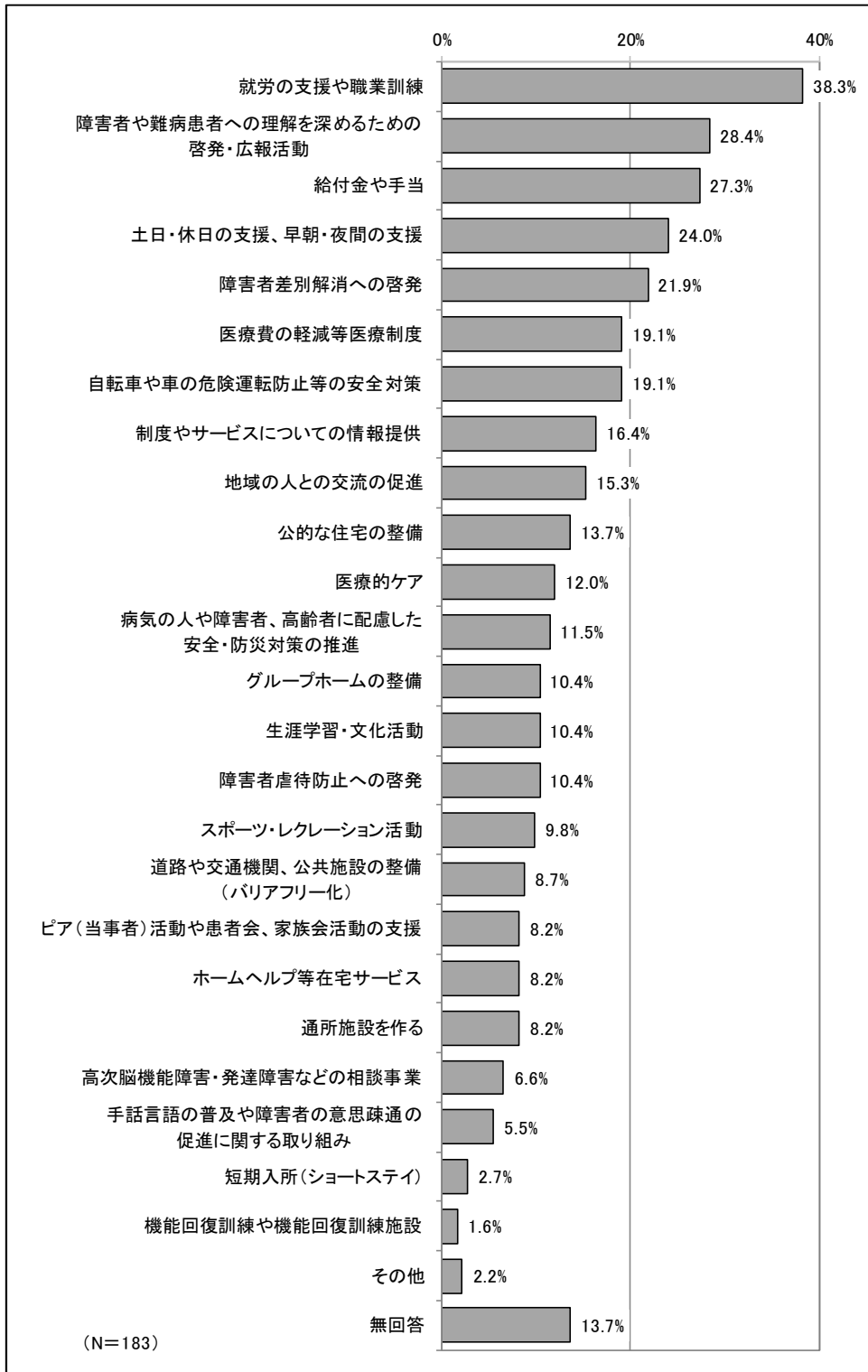


11 豊島区の今後のありかたについて

問 51 豊島区の地域での取り組みで重要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの5つまで○)

「就労の支援や職業訓練」が38.3%

取り組みで重要だと思うことは、「就労の支援や職業訓練」が38.3%と最も多く、次いで「障害者や難病患者への理解を深めるための啓発・広報活動」が28.4%となっています。



VI 難病患者調査

